

2024年度

事業報告書

社会福祉法人
札幌報恩会

— 目次 —

I	2024 年度 施策の成果	1
1.	事業の期間	1
2.	施策の成果	1
II	2024 年度 事業実績	2
1.	法人本部 実績	2
(1)	財務の視点～経営管理、財務管理	2
(2)	利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング	2
(3)	業務改善の視点～リスクマネジメント	2
(4)	人材育成の視点～人事労務、労務管理	3
(5)	理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	3
1.	理事会の開催	3
2.	評議員会の開催	5
3.	監事監査の実施	5
(6)	会計監査人監査状況(養和監査法人)	5
(7)	新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移	6
(8)	避難訓練	8
(9)	法人研修	8
(10)	法人行事関連	9
(11)	職員厚生会	10
(12)	経営コンサルタント実績	10
1.	会計監査	10
2.	職員研修	11
3.	預り金監査	11
4.	中期経営計画	11
(13)	地域貢献事業(取り組み状況)	12
(14)	設備の改善状況	13

2. 各事業所実績	14
【札幌報恩学園 概要】	14
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	24
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	32
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	37
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	42
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	47
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	51
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート91 概要】	54
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション106 概要】	58
相談支援	
【就業・生活相談室しんさつぽろ 概要】	61
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	65
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	72
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

I. 2024 年度 施策の成果

1. 事業の期間

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

2. 施策の成果

(1) 法人経営統括

2024年度は第5次中期経営計画の最後の年であり、概ね計画通り適切なサービスが提供できた一年であった。特に行事の一つである長い歴史の運動会が名称、内容変更と内部開催とした。また3年に一度の報酬改定があり一部増収となり経営基盤が安定したところもあるが、目標利用率達成に至らない事業、受託事業においては収支のバランスは悪かった。消耗品をはじめ燃料費・光熱水費をはじめとする物価の高騰などのリスクに対して留意する状況は続いており、新年度も、確実な収入確保とコスト削減・適正化をすすめることが必須である。会計監査人による財務会計監査を実施しており、この会計監査を通じて、財務会計に係るチェック体制の格段の強化を図っているが適正かつ公正な支出管理の為にさらなる定期的な内部監査を進められた。

地域貢献事業の取り組みの実践は、少しずつ増え幼児から高齢者までが参加できる内容が織り込まれた。近隣の町内会との連携により中央区、上野幌と協賛行事も増えた。

人材の確保・育成・定着では対応が厳しい状況ではあったが、新卒よりは中途採用で確保できた。内部研修ではオンライン、集合と合わせながら予定通り実施できた。

今年度の報酬改定の「改定内容」と「概要」により国の方向性、傾向が浮き彫りになり、次回の報酬改定で危機的影響を及ぼす可能性を感じる一年であった。

(2) 第5次中期経営計画3年目

中期経営計画の機能別4分野について、2024年度についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2024 年事業報告(達成状況)参照

Ⅱ. 2024 年度 事業実績

1. 法人本部 実績

(1)財務の視点～経営管理、財務管理

- ・理事会、定時評議員会は予定通り開催された。
- ・6月、11月と2回の環境整備委員会を開催、敷地内部の検分を実施。
- ・会計監査人による定期監査を実施。業務フローの見える化が未達成であり、内部監査が不十分で計画通り実施できなかった。
- ・預り金監査は外部に委託して実施。
- ・財務分析は報酬改定により増収となったが、利用者減の事業所においては稼働率が下がり収益減となった。
- ・SWOT 分析を整理し、課長職・係長職と意見交換しながら、「2025年～2027年 中期経営計画」を作成した。
- ・設備計画(購入、工事、改修等)はくるみ寮で土地購入、グリーンホーム厚別で車輛購入、厨房床改修工事が入札、その他についてはほぼ予定通り実施できた。

(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング

- ・地域貢献活動委員会の企画により、「すこやか倶楽部」、「ほうおんクリーン DAY2回(全事業所合同町内ゴミ拾い活動)」、「小学生向け：法人見学会&しいたけ収穫体験」、「町内会合同防災訓練」、「お楽しみ演芸会」、「幼児(0～2才児対象)向け：雪遊び」
- ・地域との連携、「いずみ公園清掃活動参加 報恩学園・グリーンホーム厚別」、「幌西第6分区町内会春の清掃活動、幌西ほうおん ほうおん園 幌西連合町内会 夏まつり」、「子育て支援「ひろば ぽぶり」の開催」、「上野幌中央第1町内会 秋祭り参加」
- ・café スミレは年間を通して営業を行い、来客数は 2,368 名。café ラベンダーも年間を通じて営業を行い、来客数は 4,085 名。短時間営業ではあるが、週5日(土・日休業)の営業を開始し地域のお客様もご利用いただけた。
- ・利用者の権利擁護の観点から、利用者様が自由にお話できる「何でも相談会」(利用者様と第三者委員)を継続実施した。

(3)業務改善の視点～リスクマネジメント

- ・リスク管理としてコンプライアンス委員会、人権擁護委員会を開催し、ハラスメント関連、行動規範等の啓発活動を実施。

- ・各事業所の火災訓練、法人合同の災害訓練を継続実施。非常食を試食し毎年想定災害を変えて行っている。
- ・ホームページ委員会よりタイムリーな情報、毎月トップ画面を変更するなど変化をつけることができた。
- ・情報管理を整理することが出来ず、個人情報保護規程を見直すことまでに至らなかった。

(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理

- ・学校関連に採用試験の案内を送付、業者を使い広範囲に募集案内を出して計画的雇用を図った。2025 年 3 月での離職率は 10%を切り、2025 年 4 月スタート時点では欠員状況は一桁である。
- ・就職活動のフェアへの参加、定期的な職場見学会を実施した。
- ・吉岡マネジメントグループと連携して研修会等を実施した。
- ・資格取得制度を利用した職員は 7 名だった。

(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

1. 理事会の開催

開催回	開催年月日	審 議 事 項	
第 1 回	2024 年 2 月 22 日(木)	報告第 1 号 第 3 四半期監事監査結果の報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第 3 号 まごころ保育園指導監査の実施結果について 議案第 1 号 事業所運営規程の一部改正について 議案第 2 号 法人規程の一部改正について	承認 承認 承認 可決 可決
第2回	2024 年 3 月 26 日(火)	議案第 1 号 2023 年度 第一次補正予算(案)について 事案第 2 号 2024 年度 事業計画(案)について 議案第 3 号 2024 年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第 4 号 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金手当及び 期末賞与の支給について 議案第 5 号 ホープス事業形態変更と運営規程一部改正について 議案第 6 号 2024 年 くるみ寮(すみれ寮)スプリンクラー設置工事について 議案第 7 号 2024 年度 建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第 8 号 2024 年度 法人管理者の人事異動及び任命について 議案第 9 号 コンサル業者の 2023 年度業務報告と 2024 年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2024 年 6 月 7 日(金)	報告第 1 号 第 4 四半期決算の監事監査結果及び会計監査の報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業績執行報告、業務管理報告について 報告第 3 号 2024 年度 建設等実行委員会からの報告について 議案第 1 号 2023 年度 事業報告の承認について	承認 承認 承認 可決

2. 評議員会の開催

開催回	開催年月日	審 議 事 項	
第 1 回	2024 年 6 月 22 日(土)	報告第 1 号 2023 年度 決算に係る監事監査結果及び 会計監査報告について 議案第 1 号 2023 年度 事業報告の承認について 議案第 2 号 2023 年度 決算に係る計算書類及び 財産目録の承認について 議案第 3 号 2023 年度 社会福祉充実残額の算定結果について 議案第 4 号 役員等及び会計監査人の報酬並びに費用弁償に関する 規程の一部改正について その他（簡略報告）2024 年度 事業計画及び各拠点区分当初予算 について	承認 可決 可決 可決 可決 可決
第2回 (書面)	2024 年 12 月 21 日(土)	議案第 1 号 定款一部変更について	承認

3. 監事監査の実施

第 1 回	2024 年 8 月 22 日(木) (4 月から 6 月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認 3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認 5 法人運営関係確認 6 決算作業(第 4 回) (第2回、第4回監査法人同席)
第 2 回	2024 年 11 月 19 日(火) (4 月から 9 月分)	
第 3 回	2025 年 2 月 12 日(水) (4 月から 12 月分)	
第 4 回	2025 年 5 月 30 日(金) (決 算)	

(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)

訪問日	実査内容	備考
・2024 年 3 月 21 日～ 22 日	* 内部統制運用評価、実証手続	
・2024 年 4 月 3 日	* 実査・確認手続き ・小口現金等実査	
・2024 年 5 月 20 日～ 24 日	* 期末監査	
・2024 年 9 月 2 日～ 4 日	* 内部統制の整備状況の確認 * 期中取引の検証 * 分析的手続き * 実証手続き	
・2024 年 12 月 16 日～ 17 日	* 内部統制監査 * 期中実証手続	
・2025 年 3 月 18 日～ 19 日	* 内部統制運用評価、実証手続	
・2025 年 4 月 2 日	* 現金実査	

(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

＜令和6年度新人採用の件＞

- ・9/10 採用試験実施1名受験 合格 支援員1名(男性1名)※
 - ・10/31 採用試験実施1名受験 合格 保育士1名(女性1名)
 - ・2/7 採用試験実施2名受験 合格 事務員1名(男性1名)
- 合計3名(支援員:男性1名、事務員:男性1名、保育士:女性1名)
※内定辞退 1名 支援員1名(男性)

＜入 職＞

(新 任)

- ・4月: 正職員 10名(報恩4名、グリーン1名、ワーク1名、くるみ寮1名、まごころ2名、しんさっぽろ1名)
 - 臨 職 2名(報恩2名)
 - パート 2名(幌西1名、まごころ1名)
- (うち 臨職から正職へ3名登用:報恩2名、しんさっぽろ1名)

(中 途)

- ・5月: 臨 職 2名(しんさっぽろ1名、幌西1名)
- ・6月: パート 2名(サポート1名、幌西1名)
- ・7月: 正職員 3名(報恩3名・臨職→正職)
- 臨 職 1名(しんさっぽろ1名)
- パート 1名(くるみ寮1名)
- ・8月: 正職員 1名(しんさっぽろ1名・臨職→正職)
- 臨 職 1名(グリーン1名・正職→臨職)
- パート 1名(報恩1名)
- ・9月: パート 1名(報恩1名)
- ・10月: 正職員 1名(しんさっぽろ1名・臨職→正職)
- パート 2名(くるみ1名、そよ風1名)
- ・11月: 臨 職 4名(報恩2名、グリーン2名)
- パート 2名(くるみ1名、まごころ1名)
- ・12月: 正職員 2名(報恩1名、グリーン1名・臨職→正職)
- 臨 職 1名(報恩1名)
- パート 1名(報恩1名)
- 嘱 託 1名(くるみ寮1名)
- ・1月: 臨 職 5名(報恩4名、グリーン1名)
- ・2月: 正職員 3名(報恩1名、グリーン2名・臨職→正職)
- 嘱 託 1名(くるみ寮1名)
- ・3月: 正職員 1名(報恩1名・臨職→正職)
- 臨 職 1名(報恩1名)

(正職員 2名、臨職 14名、パート 10名、嘱託 2名)
 ※登用(臨職から正職員へ) 9名

<退職>

- ・4月:パート 1名(ワーク1名)
- ・7月:正職員 1名(グリーン1名)
 臨職 3名(報恩3名 臨職→正職)
 パート 1名(くるみ1名)
- ・8月:正職員 2名(しんさっぽろ1名)(グリーン1名 正職→臨職)
 臨職 1名(しんさっぽろ1名 臨職→正職)
- ・9月:正職員 1名(グリーン1名)
 臨職 1名(報恩1名)
- ・10月:正職員 2名(報恩2名)
 臨職 2名(くるみ1名)(しんさっぽろ1名 臨職→正職)
 パート 2名(くるみ1名、まごころ1名)
- ・11月:パート 1名(まごころ1名)
- ・12月:パート 2名(報恩2名)
- ・1月:臨職 1名(報恩1名)
 パート 2名(報恩1名、くるみ1名)
- ・2月:正職員 1名(まごころ1名)
 臨職 3名(報恩1名)(グリーン2名・臨職→正職)
 パート 2名(報恩1名、くるみ寮1名)
- ・3月:正職員 8名(報恩1名、グリーン2名、ワーク2名、くるみ寮1名、
 まごころ1名、幌西1名)
 臨職 5名(幌西1名)
 (報恩2名、グリーン1名、サポート1名、臨職→正職)
 パート 8名(報恩1名、くるみ寮2名、サポート1名、まごころ1名、
 幌西2名)(報恩1名 パート→臨職)

(正職員 14名、臨職 5名、パート 18名)
 ※雇用形態の変更13名

<離職率>

	2024.4～2025.3			2023.4～2024.3			2022.4～2023.3		
	職員数 4/1	離職 者数	離職率	職員数 4/1	離職 者数	離職率	職員数 4/1	離職 者数	離職率
正職員	215	14	6.51%	222	20	9.00%	231	24	10.38%
臨時職員	19	5	26.31%	16	2	12.5%	12	3	25.00%
全 体	234	19	8.11%	238	22	9.24%	243	27	11.11%

(8)避難訓練

- ①札幌報恩学園
・7/17、3/14 実施
- ②グリーンホーム厚別・そよ風
・5/8、7/3、11/6、3/14 実施
- ③ワークショップ上野幌
・5/23、11/12、3/13 実施
- ④のぞみ寮
・6/19、8/5、10/27 実施
- ⑤くるみ寮
・5/10.13.20、6/23、10/22、1/7 各ホームにて実施
- ⑥ホープス
・5/22、7/30、11/25 実施
- ⑦幌西ほうおん
・5/10、7/4、1/10 実施
- ⑧まごころ保育園
・4/17、5/8、6/12、7/10、8/8、9/11、10/9、11/6、12/11、1/8、2/5、
3/14 実施
- ⑨全体
・9/3(自然災害訓練)実施

(9)法人研修(基本は対面で実施、状況に応じてオンラインを活用)

- ・7/30 2024 年度中期経営計画の報告・説明会(ZOOM)
- ・7/1～8/31 虐待防止研修(オンデマンド)(全職員)
- ・7/2 安全運転講習 (全職員)
- ・7/9 2024 年度報酬改定のポイント(主任以上)
- ・7/24 アンガーマネジメント研修1(主任以上)
- ・8/6 地域貢献における公益的な取り組み
- ・8/20 メンタルヘルス(全職員)
- ・8/28 救命救急講習①(未受講者)
- ・9/2 アンガーマネジメント研修 2(一般職対象)
- ・9/11 社会福祉法人の機関と役割、理事会・評議員会の運営
(課長以上)
- ・10/8 人事考課者向け研修(主任以上)
- ・10/15 メンタルヘルス研修(全職員)
- ・11/6 介護技術(全職員)

- ・12/2 防犯研修(新採用者、未受講者)
- ・12/3 被考課者向け研修(一般職、主任)
- ・12/24 救命救急講習②(未受講者)
- ・1/7 カスタマーハラスメント等への対応(事務員、主任以上)
- ・1/8 救命救急講習③(未受講者)
- ・1/16 高齢化・重度化関連(全職員)
- ・1/28 虐待防止研修(人権擁護研修の未受講者)
- ・2/4 新任(中途採用)のフォローアップ
- ・2/6 事業所発表(グリーンホーム厚別・そよ風・のぞみ寮)
- ・2/18 事業所発表(地域系)
- ・2/20 事業所発表(札幌報恩学園)
- ・3/26～28 新任職員研修(新採用者)

(10)法人行事 関連

- ① 楽レク大会
 - ・実施日:2024 年 6 月 15 日(土)
 - ・会 場:法人敷地内
 - ・内 容:運動会からの名称、内容変更と内部開催として保護者との交流会
- ② 慰霊祭
 - ・実施日:2024 年 6 月 28 日(金) 11 時～11 時 30 分
 - ・会 場:ポチ、報恩碑前
 - ・内 容:後援会役員、法人役員、元職員も出席しての開催
- ③ 報恩まつり
 - ・実施日:2024 年 9 月 22 日(日)
 - ・会 場:交流ホームひまわり周辺等
 - ・内 容:天候に恵まれ、保護者、町内会等も来場
- ④ 同窓会みんな元気会
 - ・実施日:2024 年 10 月 27 日(日)
 - ・会 場:新さっぽろアーキシティホテル
 - ・内 容:ホテルでの開催、93 名の参加者
- ⑤ 創立記念日
 - ・実施日:2024 年 11 月 29 日(金)
 - ・会 場:地域交流ホームひまわり
 - ・内 容:お饅頭贈呈式、ソプラノ歌手によるライブ開催

⑥ 成人のお祝い会

- ・実施日:2025 年 1 月 14 日(火)
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・対象者:新成人 8 名、出席者 1 名(くるみ寮より)
- ・内 容:写真撮影、記念品贈呈等

⑦ 報恩あーと展

- ・実施日:2025 年 3 月 1 日(土)～2 日(日)
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・内 容:利用者作品の展示で投票による賞を決定

(11)職員厚生会 関連(会員数:252名)

<事業報告>

①歓送迎会及び定例総会(3/29)

- ・ホテルエミシア 計 164 名参加

②スポーツ観戦(7/26, 9/28, 11/6:3 回)

- ・プロ野球、サッカー、バスケット 計 81 名参加

③納涼祭(8/28)

- ・アサヒビール園 計 130 名参加

③演劇鑑賞(10/12)

- ・ジーザス・クライスト 計 20 名参加

④忘年会・永年勤続表彰(12/28)

- ・ホテルエミシア 計 123 名参加

⑤新年会(各事業ごとに開催)

計 116 名参加

<慶弔金搬出事業>

- ・餞別 20 件、香典等 11 件、見舞金 6 件、お祝い金 8 件

<会議>

- ・第 1 回:2024 年5月、第 2 回:2025 年 2 月、第 3 回:令和 2025 年 3 月

(12)経営コンサルタント実績

【コンサル業者】

吉岡マネジメントグループ

ビズアップ人事コンサルティング株式会社

【期間】

2024 年 4 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日

【2024 年度 実績報告】

1. 会計監査(計 12 回)実施

(1)決算業務指導

- ①注記記載に関する助言
- ②拠点間繰入収益、費用の整合性確認
- ③固定資産管理・登録に関する助言

(2)会計指導

- ①三表整合の不一致、内部取引消去の不整合等の指摘、修正指導
- ②固定資産処分に関する仕訳処理の助言
- ③固定資産の科目、耐用年数に関する助言
- ④事業間、拠点間内部取引消去の確認
- ⑤資金収支計算書未反映の仕訳について修正指導
- ⑥積立金の統合に関する助言
- ⑦資本的支出と修繕費に関する助言

2. 職員研修

(1)階層別研修

- ①2024 年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント 2024 年 7 月 9 日
- ②地域における公益的な取り組み 2024 年 8 月 6 日
- ③社会福祉法人の機関と役割 2024 年 9 月 11 日
- ④社会福祉法人における財務分析の手法 2024 年 11 月 5 日
- ⑤カスタマーハラスメントなどへの対応 2025 年 1 月 7 日
- ⑥フォローアップ研修 2025 年 2 月 4 日

(2)人事考課制度研修

- ①被考課者向け 人事考課制度研修 2024 年 10 月 8 日
- ②考課者向け 人事考課制度研修 2024 年 12 月 3 日

(3)新人研修

- ①ビジネスマナー、接遇 2025 年 3 月 28 日

3. 預り金監査

2024 年 11 月 6 日実施

4. 中期経営計画策定

昨年度の SWOT 分析を整理して、法人理事・管理者・課長職・係長職と意見交換しながら、「2025年～2027年 中期経営計画」を作成した。

(13)地域貢献事業(取り組み状況)

1. 地域貢献

- ・「すこやか倶楽部(軽体操)」介護予防センター主催
4/1, 6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7、12/2
- ・ほうおんクリーン DAY(全事業所合同町内ゴミ拾い活動)～6/11, 9/4
- ・小学生向け:法人見学会&しいたけ収穫体験～7/30
- ・町内会合同防災訓練～10/5
- ・お楽しみ演芸会～11/9
- ・幼児向け:雪遊び～2/4
- ・いずみ公園清掃活動参加～報恩学園;7/6, 13, 20, 27
グリーンホーム厚別;8/3, 10, 17, 24, 31
- ・幌西第6分区町内会 の清掃活動～4/11
- ・幌西連合町内会 夏まつり 幌西ほうおん ほうおん園～7/7
- ・子育て支援「ひろば ぽぷり」の開催～7/26、9/27
- ・上野幌中央第1町内会 秋祭り～9/28

2. ボランティアの受け入れ

- ・補修～2024 年度 延べ人数 34 名、
- ・園芸～グリーンホーム厚別 各 2 名: 4/1、4/15、4/22、5/7、5/13、5/20、
5/27、6/3、6/22、7/1、7/11、7/29、8/6、8/26、9/3、9/10、9/23、
9/30、10/7、10/15、10/28、11/5、11/13、11/25、3/3、3/10、3/17、
3/24

3. 実習生の受け入れ(大学、専門学校生)

- ・札幌報恩学園 14 名
- ・グリーンホーム厚別、そよ風 5 名
- ・まごころ保育園 8 名
- ・ワークショップ上野幌 5 名
- ・ホープス 4 名

4. カフェの来店者数

- ・Cafeすみれ
来客数: 4 月 234 名、5 月 160 名、6 月 221 名、7 月 215 名、
8 月 215 名、9 月 219 名、10 月 194 名、11 月 236 名、
12 月 141 名、1 月 160 名、2 月 194 名、3 月 179 名
合計 2,368 名
- ・Cafeラベンダー
来客数: 4 月 239 名、5 月 319 名、6 月 621 名、7 月 355 名、
8 月 290 名、9 月 306 名、10 月 341 名、11 月 292 名、
12 月 322 名、1 月 317 名、2 月 325 名、3 月 358 名
合計 4,085 名

(14)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金 額
本部	パソコン関連	214
	除雪業務	1,262
	ストレスチェック検査料金	309
	敷地内枝払い等	2,172
	土地	-
	建物	-
札幌報恩学園	パソコン関連	1,072
	居室トイレ修理	-
	家電交換	401
	厨房エアコン	-
	ベッド関連	-
	ランドリー洗濯機	1,600
	居室壁修理	2,035
	ディルルーム塗装	880
	給水ユニット	1,870
	スプリンクラー修理	544
グリーンホーム厚別	パソコン関連	1,501
	エアコン	-
	車両	3,421
	特殊浴槽	-
	浴室改装	-
	自火報	1,540
	床暖ポンプ	596
そよ風	パソコン関連	858
ワークショップ上野幌	パソコン関連	429
のぞみ寮	パソコン関連	214
くるみ寮	パソコン関連	214
	エアコン	596
	家電交換	-
	スプリンクラー	-
	土地	45,000
ホープス、サポート 91、 ステ 106	パソコン関連	1,072
しんさっぽろ	パソコン関連	643
まごころ保育園	パソコン関連	643
	ホールカーテンレール取替工事	286
	大型冷風機(エアコン)	2,475
幌西ほうおん	パソコン関連	-
	ウッドデッキ他補修工事	1,006
	園庭の松の剪定	1,386
計		74,229

2. 各事業所 実績

【札幌報恩学園 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活が出来るよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施した。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援・活動を行った。
- 短期入所、日中一時支援事業においては地域で暮らす方々の多様なニーズに、お応え出来るよう受入を行ったが、一時的に感染症等が発生した際にはお断りすることがあった。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

① 知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145 名(入所契約者数 144 名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,337 名(145 名×365 日×0.97)
受け入れ実績	51,121 名

② 知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145 名(生活介護契約者数 144 名)
受け入れ目標(年間延べ)	38,224 名(145 名×269 日×0.98)
受け入れ実績	38,079 名

③ 知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠定員	5 名
受け入れ目標(年間延べ)	120 名
受け入れ実績	163 名

④ 日中一時支援事業の受入れ

受け入れ枠定員	6 名
受け入れ目標(年間延べ)	10 名
受け入れ実績	3 名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,337 名の目標に対して実績 51,121 名、生活介護も同じく 38,224 名に対し、実績 38,079 名となり両事業とも概ね達成できた。短期入所については、新規利用相談も増え、実績 163 名と目標を達成した。日中一時支援においては実績 3 名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2023 年度から本年度への繰越人員	96	48	144
本年度中の入所者数	1	1	2
本年度中の利用者総数	97	49	146
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から 2025 年度への繰越人員	96	48	144
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	865	429	1,294

②月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	144	144	143	143	143	144	144	144	144	144	144	144	1,725
月平均 施設入所	139.4	138.1	138.8	140.3	138.9	141.2	141.9	142.0	140.9	139.4	139.8	139.5	140.0
入所	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
退所	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

③本年度入所利用者数調べ

男	女	計
1 人	1 人	2 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
グループホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	0	1	1
計	1	1	2

⑤在籍者 区分別調べ (月初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分 6	121	121	120	120	120	121	121	121	121	121	121	121	1,449
障害支援区分 5	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
障害支援区分 4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分 3													
障害支援区分 2													
障害支援区分 1													
計	144	144	143	143	143	144	144	144	144	144	144	144	1,725

【生活介護】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2023 年度から本年度への繰越人員	96	48	144
本年度中の入所者数	1	1	2
本年度中の利用者総数	97	49	146
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から 2025 年度への繰越人員	96	48	144
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	865	429	1,294

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	144	144	143	143	143	144	144	144	144	144	144	144	1,725
生活介護 月平均	141.3	139.8	139.5	141.3	140.7	142.8	142.8	143.0	142.5	141.7	141.2	141.5	142.5
入所	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
退所	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

③本年度入所者調べ

理 由	男	女	計
他施設より	0	0	0
在宅者	1	1	2
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	1	1	2

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
グループホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	0	1	1
計	1	1	2

⑤在籍利用者 区分別調べ (月初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	121	121	120	120	120	121	121	121	121	121	121	121	1,449
障害支援区分5	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
障害支援区分4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	144	144	143	143	143	144	144	144	144	144	144	144	1,725

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

＊基本的に月曜から金曜日は日中活動を毎日実施し、土曜日は隔週で活動を行った。各ブロックの生活スタイルに合わせた支援を心掛けた。

(4)部門目標(反省)

<さくら>

1.人権・意思決定支援に配慮した支援に努める

・年間を通して「身だしなみ」、その他に「呼称」「プライバシー」「生活環境」の3項目の内、1つつ取り組んだ。各項目、意識付けに繋がった。カードを用いて外出場所や、外出先での飲食物の選択を行った。また、余暇の過ごし方として、アンケートを取り、休日にカラオケや足湯などを実施した。

2.健康管理に関する知識を深める

・急病の中でもさくらの利用者様が起こりうるものについてまとめ、毎月のケース会議にて職員間で共有し、知識向上に繋がった。持病については毎月数名ずつ、1年を通して全員を調べた。それにより、改めて各利用者様の持病を確認・共有できた。

○年間行事報告

バス外出行事でノーザンホースパークの見学を実施し、利用者様は楽しんで頂けている様子だった。他にも季節の雰囲気を感じてもらえるように行事に取り組み、利用者様に楽しんでもらえた。

<ポピー>

1.意思決定支援に配慮した支援を行います

・毎月、行事等で食べたい物などの聞き取りを行った。また、外出先の写真を見せ行きたい場所の選択を行い外出先や行事に反映させることが出来た。
・意志の表出が難しい利用者様の支援方法について、職員にアンケートを取り、具体的な支援について聞き取りを行った。それを基に支援に反映させ、おやつやの選択や、聞き取りの方法を実践した。

2.高齢化に向けた取り組みをしよう

- ・毎月のケース会議で対象者のオムツ交換、移乗を職員が交代で実演し、その後、意見交換を行い自分の支援を見直す機会になった。
- ・必要な福祉用具を使用して利用者の安全安心や、職員の負担軽減を目指し、必要な物の選定を行う為に福祉展示会に参加し、福祉用具を購入することが出来た。

○年間行事報告

2～4名のグループで予定を組んで実施した。公園に行く予定が雨天のため場所を変更するなど、若干の変更はあったが、ドライブや外食などを楽しんだ。

<ルピナス>

1.自閉症スペクトラム障害(ASD)の知識を深め、特性に合わせた支援を行います。

- ・おがらの機関支援を活用したことで自閉症スペクトラム障害の知識や情報を得られ、根拠に基づいた日課の変更等の支援を行うことができた。

2.利用者様が意欲的に取り組める日中活動を提供します。

- ・コスモスでは活動場所をブースで仕切り、お互いが視界に入らないよう環境を整備することで落ち着いて課題に取り組んで頂くことができた。昨年度よりもホミックス等の運動を行う機会を増やすことができた。

3.権利擁護についての意識を高め、利用者様の立場に立った支援を行います。

- ・支援のペースが早くなってしまう食事や入浴場面の課題点についてケース会議で話し合い、改善に向けて行動に移すことができた。

○年間行事報告

- ・外出先のバリエーションが広がり、ドライブだけではなく店内で飲食する機会を増やすことができた。

<くらいっく>

1.高齢化に向けた取り組みをしよう。

- ・刻み食やソフト食の体験、説明は役に立った。自助食器等について、見直しや再確認(食器の向きやスプーンの曲がり・角度等)を行っていききたい。ボディメカニクスについての理解を深め支援員間で共有していけるよう次年度以降の取り組みに追加していきたい。

2.利用者様の特性を理解した支援を行いましょ。

- ・以前の特性シートの見直しを行い全支援員で再作成した。各担当者が記入したシートを確認し、利用者様の特性や様々な場面での対応の仕方などを具体例で示し、イメージが付きやすいものを作成した。

3.余暇の充実を図りましょ。

- ・スヌーズレン(心地よい感覚刺激)の提供を始めるにあたり、スヌーズレンへの理解が浅く、単なる余暇提供になってしまった。ただ、普段の支援では見られない利用者様の一面が垣間見

ることはできた。

○年間行事報告

- ・焼肉ツアーや温泉に出掛け利用者様がとても喜んでいました。また、クリスマス会や新年会なども行い、季節を感じてもらえるよう工夫した。

<ぽぶら>

1.安心安全な生活を送れる支援を行う

- ・医療情報シートの作成を行った。作成する中で各々の利用者の特性を今まで以上に理解することで、これまで知らなかった利用者特性の情報を改めて知ることが出来た。また、利用者様の特性を理解することで、普段生活していく中で危険な行動を予め予測でき、怪我や事故のリスクを軽減できた。

2.自閉症に関する理解を深めよう

- ・毎月ケース会議で小テストを実施した。
- ・ピックアップした利用者様の特性シートの作成を全支援者で行った。個々によって着目する点に相違があり、まとめる事でより精度の高いアセスメントが取れた。

○年間行事報告

- ・バス外出を実施し、焼肉屋での飲食を楽しめた。クリスマス会、新年会、節分行事などの季節行事を通して、飲食を楽しむ機会を設けた。

<あかしあ>

1.利用者様の特性を再認識し、日中活動における支援の再構築を行う

- ・おがるの自立課題を参考にして、同じような仕組みの物を作成した。利用者様に課題を行ってもらい、本人達の強みは何なのか支援の参考にした。
- ・残寮支援者に事前準備や片付けの協力を促し、時間いっぱいまで活動提供した。昨年と比べてニーズの関係で個別対応しなくてはならない方が増えたので稼働率の向上には繋がらなかった。
- ・体重が増加傾向にある利用者様に対して、歩行だけではなく室内でのエアロバイクを用いた。歩行を目標にしている方の歩行計測をもっと増やしたかった。

2.利用者様の状況に応じ、配慮した支援の提供をする

- ・日中活動や週末外出においては、直接支援する職員と残寮職員が連携し、排泄・着替えの準備を事前にして時間を有効活用した。
- ・2～3ヶ月単位で一人の利用者様に焦点を当てて話し合った。事前の調整が出来ておらず、話し合いの場が少なかった。

○年間行事報告

- ・箱根牧場で焼肉を食べる外出行事を数回に分けて行った。恒例行事になっており、利用者の方も楽しんでいる様子だった。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍数

施設長(管理者)	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	栄養士	看護師	その他職員	協力医	心理士	合計	給食業務委託
1	4	(16) 89	(1) 4	2	(1) 1	(2)	(3)	(1)	(24) 101	(9) 6

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 2025年3月31日現在

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
2024.4.1～	生活支援員等	9 名	2025.3.31	生活支援員等	9 名
グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2024.4.1	生活支援員	2 名	2025.3.31	生活支援員等	3 名
そよ風からの異動			そよ風へ異動		
2024.4.1	生活支援員	1 名	2025.3.31	生活支援員	2 名
ワークショップ上野幌からの異動			サポート 91 へ異動		
2024.4.1	生活支援員	2 名	2025.3.31	生活支援員	1 名
ホープスからの異動			幌西ほうおんへ異動		
2024.4.1	生活支援員等	1 名	2025.3.31	生活支援員	2 名
幌西ほうおんからの異動			のぞみ寮への異動		
2024.4.1	生活支援員	1 名	2025.3.31	生活支援員	1 名
就業・生活相談室しんさっぽろからの異動					
2024.4.1	生活支援員	1 名			
くるみ寮からの異動					
2024.4.1	生活支援員	1 名			

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
6/4・5	障害者差別解消法に係る説明会	オンライン	3 名
6/5・6	福祉用具研修会	札幌	4 名
6/17・18	全道施設長セミナー	札幌	2 名
7/4	効果抜群！ヒヤリハット活動の見直し方	オンライン	2 名
7/9	札幌市社会福祉大会	札幌	5 名
7/11・12	全国知的障害関係施設長会議	東京都	1 名
7/14	実習指導者フォローアップ研修	札幌	1 名
7/17・30	個別支援計画事業者研修会(基礎研修)	札幌	1 名
7/18	個別支援計画作成研修会	北広島	6 名
8/9	階層別研修レベル 2 係長・主任・リーダー研修	札幌	1 名
8/23	管理監督者のための「職場の法律」	札幌	1 名
9/2	自閉症支援のためのスタートアップワークショップ番外編	オンライン	1 名
9/2・3	北海道強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	オンライン	1 名
9/5	ニューパワー全体セミナー	札幌	2 名
9/17	社会福祉法人経営者セミナー	札幌	2 名
9/27	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌	6 名
10/1～31	3 圏域合同フォローアップ研修	オンライン	7 名
10/2	赤い羽根街頭募金活動	札幌	2 名
10/3・4	全国知的障害福祉関係職員研究大会	福井県	2 名
10/6・27	北海道社会福祉協議会栄養士専門研修	オンライン	2 名
10/11	災害対策研修会	札幌	2 名
10/17	厚別区地域部会事業所交流会	札幌	3 名
10/19	北海道社会福祉フォーラム 2024	札幌	2 名
10/21	北海道サービス管理責任者研修(基礎研修)	オンライン	1 名
10/23	施設長・管理者権利擁護特別研修	札幌	2 名
10/26	自閉症スペクトラムトピックセミナー	旭川	1 名
11/1	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	2 名
11/2	福祉のリアルが聞けるセミナー2024	札幌	1 名
11/21	権利擁護セミナー	札幌	2 名
11/28・29	サービス管理責任者研修(実践)	札幌	1 名
12/1	5 法人ジョイントセミナー諏訪利明氏公開講演会	オンライン	4 名
12/6	障がいのある方の交際・結婚・子育てを考えるセミナー	札幌	1 名
12/7	札幌市発達障害児者地域生活モデル事業研修	札幌	6 名

12/9	安全運転管理者講習	札幌	1名
12/9	会計実務者決算講座	オンライン	2名
12/23～26	摂食嚥下ケア研修	オンライン	3名
1/10	経営者・管理者向け調査で明らかになった虐待事故の原因	オンライン	3名
1/15	個別支援計画事業者研修会	札幌	1名
1/24	四法人研修個別支援計画作成研修	札幌	1名
1/30	従業員トラブルの労働法講座	札幌	1名
1/30	障がい者虐待防止・権利擁護伝達研修	札幌	2名
2/4	重度高齢化に対する取り組み	札幌	3名
2/6・7	サービス管理責任者更新研修	札幌	1名
2/15・16	サービス管理責任者実践研修	オンライン	1名
2/17・18	全道施設長研修会	札幌	2名
2/20	厚別区地域部会	札幌	2名
2/21	良質なコミュニケーションのコツ	オンライン	4名
3/7	サービス管理責任者研修(基礎研修)	札幌	1名
3/8	北海道行動援護従事者養成研修フォローアップ研修 余暇	札幌	3名
3/10～31	北海道相談支援従事者研修(サービス管理責任者向け)	オンライン	1名

(4)勤務時間

- ・勤務時間が1日8時間、シフト制による勤務体制としている。夜間においてはバックアップ職員が2名配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。

(5)諸会議

- ・諸会議については予定通り実施することができた。朝会や栄養ケア会議など一部オンラインで行った。

【グリーンホーム厚別 概要】

― 施設入所支援・生活介護・短期入所 ―

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さま一人ひとりが楽しく日常生活を過ごして頂けるよう、食事や入浴などの支援を行なった。また心豊かな生活となるよう創作活動や生産活動に加え、楽しく体を動かすレクリエーション活動や季節ごとの行事、交流ホームでの映画鑑賞やドライブ、買物外出等の余暇の機会を提供した。
- 施設入所支援においては、日中活動と合わせて 24 時間 365 日、利用者さまが健康で充実した生活が送れるよう、日常生活全般のサービスを提供し、健康管理、栄養管理、衛生面について専門職との連携を図りながら支援を行なった。また、加齢化における心身の変化に気付き、寄り添いながら一人ひとりが健康で安全、安心、快適な生活が送れるよう支援した。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、在宅で暮らす障がいのある方を対象に感染症予防対策を実施しながら、ご家族の介護負担の軽減や休息など様々なニーズにお応えしながら健康管理や入浴、食事などの日常生活の支援を行なった。また、困難ケースの利用者様の受け入れを専門機関の協力を得ながら実施した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60 名(入所契約数 60 名)
受け入れ目標(年間延べ)	21,521 名(60 人×366 日×0.98)
受け入れ実績	21,512 名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60 名(生活介護契約数 66 名)
受け入れ目標(年間延べ)	15,552 名(60 人×270 日×0.96)
受け入れ実績	17,373 名

③知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6 名
受け入れ目標(年間延べ)	550 名
受け入れ実績	553 名

④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10 名
受け入れ目標(年間延べ)	10 名
受け入れ実績	0 名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、21,521 名の目標に対し 21,512 名で未達成、生活介護においては、目標 15,552 名の目標に対し 17,373 名の利用で達成出来た。短期入所事業においては、550 名の目標に対し実数 553 名の利用で達成、日中一時支援は利用希望の要望がなく、10 名の目標に対し実数 0 名で未達成であった。

[施設入所支援]

① 利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2023 年度から本年度への繰越人員	34	26	60
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	35	26	61
本年度中の退所者数	0	1	1
差引本年度から 2025 年度度への繰越人員数	35	25	60
創立(昭和 51 年 6 月 1 日)以来の利用者総数	121	103	224

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契 約 者 数	60	60	60	60	61	61	61	61	61	61	61	60	727
月 平 均	58.0	58.1	59.1	59.1	57.7	60.2	59.7	59.8	59.8	57.8	59.1	58.8	58.9
入 所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

③本年度入所者数調べ

男	女	計
1	0	1

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設へ異動(医療機関へ)	0	0	0
死 亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	37	37	37	37	37	37	38	38	38	38	39	39	452
障害支援区分5	19	20	20	20	21	21	20	20	20	20	19	19	239
障害支援区分4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
障害支援区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	60	60	60	60	61	61	61	61	61	61	61	61	727

[生活介護]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2023 年度からの繰越人員	39	27	66
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	40	27	67
本年度中の退所者数	0	1	1
差引本年度から 2025 年度への繰越人員	40	26	66
昭和 51 年 6 月 1 日以来の利用者総数	124	104	228

平成 23 年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	65	65	65	65	66	66	66	66	66	66	66	65	787
月平均	47.3	48.1	47.5	48.3	47.1	47.3	48.1	47.6	47.5	47.5	45.9	47.4	47.5
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1

③本年度入所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
他の施設より	0	0	0
在宅者	1	0	1
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	1	0	1

④本年度退所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設への異動	0	0	0
死亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	37	37	37	37	37	37	38	38	38	38	39	39	452
障害支援区分5	19	20	20	20	21	21	20	20	20	20	19	19	239
障害支援区分4	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	73
障害支援区分3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	65	65	65	65	66	66	66	66	66	66	66	66	787

(3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
15:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

(4)部門目標(反省)

<生活共通目標>

- ① 利用者様の自己選択や自己決定に配慮した支援を行ないます。
- ② 利用者様の健康を守り、安心して過ごせるよう支援を行ないます。

<すずらん>

- ① ア:外出の選択肢を増やせるように、これまでにない外出先を提供しよう。
新しい外出先を知るためにこれまでとは異なるお店のロゴマークを作成し情報提供を行なった。いつも同じ選択しかしてなかった利用者様が他のお店にも興味を持ち外出することができた。
イ:見通しをもって過ごせるように、スケジュール提示の工夫をしよう。
個々に合わせたスケジュール提示をすることで支援員への確認行為や興奮の減少につながった。ディルールの掲示板の提示の修正ができなかったので次年度の課題とする。
- ② ア:定期的に居室の清掃ができるよう仕組み化しよう。
週に一回、居室清掃の日として設定しワックスかけを行なった。これまでワックスかけを経験したことない職員にとっても良い経験となった。
イ:異常時にすぐに気づけるよう普段の状態を共有しよう。
利用者様の日常の体温、血圧、脈拍を測定しデータ化した。それによって日常の様子と違うことに早めに気づき対応することができた。

＜はまなす＞

- ① ア:個々に応じた方法で意思をくみ取り、希望に沿った余暇を提供しよう。

写真、絵、プリントしたものをディルームに掲示し、利用者様がいつでも見ることができるようにした。それによって、利用者様自らが情報収集することができた。今後利用者様に情報が伝わるよう継続して行なっていきたい。

イ:利用者様が安心できるようにわかりやすい提示方法を工夫しよう。

通院する利用者様と引率職員を提示することができたが、滞ることもあった。カレンダーを使用できる利用者様については居室で個々に応じた提示を行なった。今後も個々に応じた方法で対応していく。

- ② ア:ヒヤリハットを分析し、職員間で情報共有しよう。

毎月の会議で直近のヒヤリハットの項目を分析し、早期に事案に対する対応策を共有できた。今後も検討の精度を上げ情報共有していきたい。

イ:安心で安全な環境を提供しよう。

居室のカーテンの洗濯や窓ふきなどを行ない衛生的な環境作りに努めた。感染症流行時には消毒、換気を徹底し感染拡大を防ぐことができた。ワックスかけについては計画的に取り組むたい。日常的に使用している車いすのふき取り、汚れやすいベッド下の清掃等定期的に行ない過ごしやすい環境を提供していきたい。

- ③ 人権・虐待防止を意識した支援に取り組みます。

毎月、人権についてのアンケートを実施し全員で情報を共有、改善できることを話し合った。今後も継続していく。

＜日中活動＞（椎茸班、下請班、園芸班、療育班）

- ① 身体的な活動を重点的に行い、健康の増進を図れるように努めます。

作業的活動とは別に歩行活動や体操、ダンスなど身体を動かす活動を取り入れ、健康の増進を図るような取り組みを行った。

- ② 心理的な安定に繋がるよう、一人ひとりの要望に即した楽しい活動を提供します。

利用者様の要望から創作活動を年間通じて提供し、外部のアート展や報恩あーと展に出展することが出来た。

(5)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
8月15日	花火大会	グリーンホーム駐車場	30名
10月9日～ 10月10日	一泊旅行①	帯広方面	30名
10月17日	日帰り旅行①	由仁ガーデン	2名

10月24日～ 10月25日	一泊旅行②	定山溪方面	26名
10月29日	日帰り旅行②	千歳サケのふるさと館	3名
11月22日	勤労感謝の会	各寮にて	65名
12月24日	クリスマス会	グリーンホーム食堂	62名
12月28日	もちつき大会	感染症発生のため中止	0名
1月10日	年賀状抽選会	グリーンホーム食堂	63名
2月3日	豆まき	各寮デイルーム	64名
3月28日	お別れ会	グリーンホーム食堂	65名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								及び契約パート職員	栄養士他
1	2	(3) 31	(1) 1	1	1	(2)	(6) 37	(4) 3	1

※()は臨時職員、委託職員、パート職員、兼務職員 2025年3月31日現在

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2024.4.1	生活支援員	1名	2024.7.31	生活支援員	1名
2024.11.1	生活支援員	2名	2024.9.30	生活支援員	1名
			2025.3.31	生活支援員	1名
法人本部からの異動			報恩学園へ異動		
2024.4.1	施設長	1名	2025.3.31	生活支援員	2名
ワークショップ上野幌からの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2024.4.1	生活支援員	1名	2025.3.31	支援主任	1名
就業・生活相談室しんさっぽろからの異動			くるみ寮へ異動		
2024.4.1	生活支援員	1名	2025.3.31	支援課長	1名
くるみ寮からの異動					
2024.4.1	生活支援員	1名			
2024.4.1	看護師	1名			

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
5/16	労働基準法の実務講座	札幌市	1 名
5/25	北海道家族連合会研修	北広島市	2 名
6/5	人事労務実務研修	札幌市	1 名
6/17～18	全道施設長セミナー	札幌市	1 名
6/19	BCP 机上訓練(自然災害編)	ZOOM	1 名
7/11～12	全国知的障害関係施設長等研修	東京都	1 名
7/17	社会福祉法人会計決算分析セミナー	札幌市	1 名
7/18	個別支援計画作成研修	北広島市	2 名
7/31	第1回札幌市発達障害児者地域生活支援モデル事業研修	札幌市	2 名
8/2	障がい者虐待防止研修	札幌市	1 名
8/9	令和6年度看護師専門研修	オンライン	1 名
8/20～10/28 (期間内視聴)	障がい者虐待防止研修	オンライン	16 名
8/23	管理監督者のための「職場の法律」	札幌市	1 名
8/29	定期労働勉強会	札幌市	1 名
9/5	ニューパワー研修	札幌市	1 名
9/17	社会福祉法人経営者セミナー	札幌市	1 名
9/27	令和6年度全道知的障がい関係支援員研修	札幌市	2 名
10/17	厚別区地域部会	札幌市	1 名
10/22	栄養士専門研修	オンライン	1 名
10/23	施設長・管理者権利擁護特別セミナー	札幌市	1 名
10/26	令和6年度自閉症スペクトラムトピックセミナー	旭川市	2 名
10/30～31	サービス管理責任者更新研修	札幌市	1 名
11/1	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	2 名
12/6	2024 年度北海道サービス管理責任者基礎研修	札幌市	1 名
12/7	第2回札幌市発達障害児者地域生活支援モデル事業研修	札幌市	2 名
12/19～20	第 12 回障がい者支援施設部会全国大会	広島県	1 名
12/23	摂食嚥下ケア研修	オンライン	1 名
1/17	サービス管理責任者基礎研修	札幌市	1 名
1/20～2/10 (期間内視聴)	サービス管理責任者向け研修	オンライン	1 名

1/24	個別支援計画作成研修	札幌市	1 名
1/29～30	令和6年度日中活動支援部会埼玉地区大会	埼玉県	1 名
2/4	重度高齢化に対する取り組み	札幌市	2名
2/6	サービス管理責任者更新研修	札幌市	1 名
2/17～18	令和6年度全道施設長研修会	札幌市	1 名
2/21	特定給食施設等研修会	オンライン	1 名
3/27～28	北海道強度行動障がい支援者養成研修	ZOOM	1 名

(4)勤務時間

4 週 8 休になった 1 年目であるが、勤務時間帯は現状で問題は無かった。在宅グループの送迎に関しても臨機応変に対応する事が出来た。今後も利用者様の現状に応じて必要な対応を行っていききたい。

(5)諸会議

定例の会議については、予定通り実施する事が出来た。

【そよ風 概要】

— 生活介護 —

1. 支援目標の反省

○TEACCH プログラムを基にした構造化を実施しながらご本人の得意なところや興味、関心に着眼し意思決定支援を意識した支援に努めた。また、日常生活上の支援だけではなく、創作活動やレクリエーションなどの日中活動、余暇や季節の行事に工夫を凝らしながら、利用者のみなさまが楽しみながら毎日を送れるよう支援した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

利用定員 20 名(利用契約数 25 名)
受け入れ目標(年間延べ) 5,380 名を目標とする。
(日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)
受け入れ実績 5,122 名

(2)在籍実績

利用人員 5,380 名の目標に対し、実数が 5,122 名となり未達成だった。

区 分	人 員		
	男	女	計
2023 年度から本年度への繰越人員	16	9	25
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	17	9	26
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から 2025 年度への繰越人員数	16	8	24
創立(平成 18 年 10 月 1 日)以来の利用者総数	54	42	96

②利用者月別人員調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	25	25	25	24	24	24	24	24	25	25	25	25	295
延べ人数	460	471	436	452	389	420	443	388	405	415	403	440	5122
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309
月平均	17.7	17.4	17.4	16.7	14.4	16.2	16.4	14.9	16.9	17.3	16.8	16.9	16.6
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2

③本年度入所者数

理 由 区 分	男	女	計
他の通所施設より	1	0	1
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	1	0	1

④本年度退所者数

理 由 区 分	男	女	計
他施設へ	1	1	2
就労	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
計	1	1	2

⑤在籍者、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分 6	15	14	14	13	13	13	13	13	14	14	14	14	164
区分 5	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119
区分 4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	25	25	25	24	24	24	24	24	25	25	25	25	295

(3)日課表

9:30～	登園、視診、ミーティング
10:00～	設定活動、個別活動
11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

(4)事業所目標の反省

- ① 利用者様の特性やストレングスに合わせた活動や課題提供を行ないます。
- ② 権利擁護の意識を高め、支援を行ないます。

- ・スヌーズレンルームを活用して利用者様の気持ちの安定を図ろう。
基礎知識を全体に周知することができた。今後は実践について学びを深め本格的に導入していきたい。
- ・行事やクラブ活動を利用者様と企画し、楽しい時間を過ごそう。
行事ポスター作りを一緒に行ない達成感を感じていただけた。今後もそのような機会を提供していきたい。
- ・特性や好みに合わせた課題を作成し提供しよう。
日中活動センターでの活動を見直した。ご本人にあった課題の見極めが難しく定着に至らなかった場面もあり今後の課題である。

(5)行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
7 月 27 日	夏祭り	そよ風ホール	13 名
11 月 20 日	感謝の集い	そよ風ホール	19 名
12 月 25 日	クリスマス会	ひまわりホール	19 名
12 月 27 日	餅つき	そよ風ホール	19 名
1 月 8 日	新年会	そよ風ホール	20 名
2 月 3 日	豆まき	そよ風ホール	16 名
3 月 3 日	ひなまつり	そよ風ホール	17 名
3 月 26 日	お楽しみ会	そよ風ホール	21 名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管 理 者	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	生 活 支 援 員	事 務 員	看 護 師	協 力 医	そ の 他	合 計
(1)	(1)	(2) 9	(1)	(1)	(3)	(2)	(11) 9

※()は臨時職員、委託職員、パート職員、兼務職員 2025 年 3 月 31 日現在

(2)職員の異動数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
入 職					
2024.11.1	送迎(P)	1 名			
法人本部からの異動			札幌報恩学園へ異動		
2024.4.1	施設長	1 名	2025.3.31	生活支援員	1 名
札幌報恩学園からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2024.4.1	生活支援員	3 名	2025.3.31	生活支援員	1 名

(3)研修調べ

期 日	研 修 名	開催地	出 席 者
5/16	労働基準法の実務講座	札幌市	1 名
5/25	北海道家族連合会研修	北広島市	1 名
6/5	人事労務実務研修	札幌市	1 名
6/14	スヌーズレン基礎講座	オンライン	1 名
6/17～18	全道施設長セミナー	札幌市	1 名
7/11～12	全国知的障がい関係施設長等研修	東京都	1 名
8/23	管理監督者のための「職場の法律」	札幌市	1 名
8/29	定期労働勉強会	札幌市	1 名
9/17	社会福祉法人経営者セミナー	札幌市	1 名
9/27	令和6年度北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1 名
11/1	北海道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1 名
11/21	権利擁護セミナー	札幌市	1 名
12/7	令和6年度第2回札幌市発達障害児者生活支援モデル事業研修	札幌市	1 名
12/18	令和6年度日中活動支援部会職員研修会	札幌市	1 名
1/24	個別支援計画作成研修	札幌市	1 名
1/29～30	令和6年度日中活動支援部会埼玉地区大会	埼玉県	1 名
2/17～18	令和6年度全道施設長研修	札幌市	1 名

(4)勤務時間

4週8休の勤務体制になったが特に問題はなかった。送迎に関しても、状況に合わせて柔軟に対応出来た。

(5)諸会議

定例の会議については予定通り実施出来た。

【ワークショップ上野幌 概要】

— 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

1.支援目標(反省)

○生活介護は、利用者の意思を尊重し、創作的活動又は生産活動の機会を提供し様々な活動・作業を行った。

○就労継続支援は、利用者の個々の能力・状態に応じた作業支援を行い、働く喜びや経験を積み重ね、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートした。

2.利用者支援

(1)受け入れ目標 13,430 名(達成率:104.6%)

生活介護定員 20 名(契約数 25 名) ⇒年間延べ利用者数:5,977 名

就労継続支援B型定員 20 名(契約数 25 名)⇒年間延べ利用者数:5,550 名

就労継続支援A型定員 10 名(契約数 11 名)⇒年間延べ利用者数:2,528 名

合計 14,055 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2023 年度から本年度への繰越人員	61 名
本年度中の入所者数	1 名
本年度の利用者総数	62 名
本年度中の退所者数	3 名
差引本年度から 2025 年度への繰越人員数	58 名
平成 13 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	103 名

②利用者月別人数調べ

■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
延べ人数	513	535	462	526	502	504	504	501	507	469	459	495	5,977
開所日数	25	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	309
月平均	20.5	19.8	18.5	19.5	18.6	20.2	18.7	19.3	19.5	19.5	19.1	19.0	19.3
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■就労継続支援 B 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	289
延べ人数	446	477	421	461	460	456	495	463	486	461	436	488	5,550
開所日数	25	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	309
月平均	17.8	17.7	16.8	17.1	17.0	18.2	18.3	17.8	18.7	19.2	18.2	18.8	18.0
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

■就労継続支援 A 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	12	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	122
延べ人数	217	213	211	214	219	210	213	211	212	192	193	221	2,528
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
月平均	7.2	6.9	7.0	6.9	7.1	7.0	6.9	7.0	6.8	6.3	6.9	7.1	6.9
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	0	1	1
家 庭	1	0	1
就 職	1	0	1
計	2	1	3

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	0	0	0
家庭から	0	0	0
その他	1	0	1
計	1	0	0

⑤在籍利用者数、区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	10	10	92
障害支援区分5	21	21	22	22	22	22	22	22	21	21	18	17	251
障害支援区分4	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	16	16	174
障害支援区分3	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12	134
障害支援区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49
計	61	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	710

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤	時間内 4 時間から 5 時間の 就労 (シフト制)
9:30	朝会			
9:35	生産・日中活動開始			
10:50	休憩			
11:00	活動再開			
12:00	昼食・休憩			
13:00	活動再開			
14:45	コーヒータイム			
15:00	活動再開			
16:00	活動終了			
16:30	退勤	18:00	退勤	

(4)部門目標(反省)

■生活介護事業所

- ・年間を通して活動の種類を増やす、様々な体験ができるプログラムを確立する。
⇒公園や南地区センターでの活動を新たに実施し、プログラムとして確立出来た。
また、四季折々の達成感を感じられる体験を提供出来た。

■就労継続支援(B 型)

- ・利用者全員が関わられるように工程を細分化して作業を提供する。
- ・丁寧な作業を心掛け、衛生面を徹底し、製品の品質維持、向上を目指す。また納品日を厳守することで、取引業者との信頼関係の構築に努める。

- ・製品に不良品がでないようにチェック体制の確立を行う。
⇒利用者全員が関わられるように対応できた。モップの入れ違いや包装の仕方に関して指摘を受けることがあった。

■就労継続支援(A型)

- ・カフェの集客数を増やす。
- ・洗濯や清掃の配置人数を満たす。
⇒カフェに関しては月に 250 名前後の客が来店。洗濯3名、清掃2名の配置人数を満たすことができた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	7	火	お花見会(数回に分けて実施)	平岡公園梅林	42 名
10	5	木	日帰り旅行(数回に分けて実施)	円山動物園他	44 名
12	24	火	クリスマス会	ワーク食堂	48 名
1	7	火	新年会	1階作業室	37 名
2	3	月	節分	1階作業室	38 名
3	28	金	慰労会	ワーク食堂	49 名

3.職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	賃金向上達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
(1)	(1)	2	1	1	(6) 13	1	2	(2) 2	(1)	(1)	(12) 22

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2024. 4. 1	生活支援員	1 名	2025.3.31	主任	1 名

入職			グリーンホーム厚別へ異動		
2024.4.1	課長	1 名	2025.3.31	生活支援員	2 名
報恩学園からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2024.4.1	主任	1 名	2025.3.31	主任	1 名
くるみ寮からの異動			退職		
2024.4.1	生活支援員	1 名	2025.3.31	生活支援員	1 名
報恩学園からの異動			退職		
2024.4.1	職業指導員	1 名			
報恩学園からの異動					
2024.4.1	臨職	1 名			
報恩学園からの異動					

(3)職員の研修

日 程	研修名	開催地	出席者
2024.6.17-18	全道施設長セミナー	札幌市	1 名
2024.7.12-9.20	介護福祉士実務者研修	札幌市	1 名
2024.7.18	4法人研修	北広島市	1 名
2024.7.17	社会福祉法人決算分析セミナー	WEB	1 名
2024.8.9	階層別研修レベル2	札幌市	1 名
2024.9.5	ニューパワー全体セミナー	札幌市	1 名
2024.8.23	管理監督者のための職場の法律	札幌市	1 名
2024.10.9	栄養士専門研修	札幌市	1 名
2024.9.27	北海道知的障がい関係支援研修	札幌市	1 名
2024.11.1	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1 名
2024.10.11	災害対策研修会	札幌市	1 名
2024.10.23	施設長・管理者権利擁護特別研修	札幌市	1 名
2024.12.15	摂食嚥下ケア研修	WEB	1 名
2024.10.26	自閉症スペクトラムピックセミナー	旭川市	1 名
2024.12.7	札幌市発達障害児者地域生活支援モデル事業 研修	札幌市	1 名
2024.12.18	日中活動支援部会職員研修会	札幌市	1 名
2025.1.23	健康保険に関する実務講座	札幌市	1 名

2025.1.24	4法人研修	札幌市	1名
2025.1.30	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座伝達研修	札幌市	1名
2025.2.17-18	全道施設長研修会	札幌市	1名
2025.2.4	札幌市重度高齢化に対する取り組みの研修	札幌市	1名
2025.2.18	災害対策研修会	札幌市	1名
2025.2.14	就労支援を考える	札幌市	1名
2025.2.28	さぽコン〜若手支援者の意見を聞く会	札幌市	1名
2025.2.8	特定給食施設等研修会	WEB	1名
2025.3.5	新さっぽろ栄養士連絡会	札幌市	1名

(4)勤務時間

- ・勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。

(5)諸会議

- ・定例会議は予定通り実施することができた。事業所ごとの会議を行い、活動・作業内容の振り返りと利用者支援についての情報共有を行った。

【のぞみ寮 概要】

一 宿泊型自立訓練・短期入所一

1. 支援目標(反省)

- 就労している利用者さまを、職場に通勤していただきながら、独立自活に必要な事項の支援を行って、利用者さまの社会適応能力を向上させ、円滑な社会自立が出来る支援を行います。
- 個別支援計画に基づき、利用者さま一人一人の希望に沿った自立を目指し、基礎的な生活スキルから社会マナー、コミュニケーションスキル等の獲得、向上を支援した。昨年度は6名の利用者さまがのぞみ寮を巣立ち、グループホームや一人暮らしをスタートさせることが出来た。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～	6,000名	実績:3,051名
・年間利用者延べ人数(短期入所) ～	50名	実績: 72名

(2) 在籍実績

① 利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2023 年度からの繰り越し人数	7 名	2 名	9 名
本年度中の入所者数	4 名	4 名	8 名
本年度中の利用者総数	11 名	6 名	17 名
本年度中の退所者数	5 名	1 名	6 名
差引本年度から 2025 年度への繰越人員	6 名	5 名	11 名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	135 名	107 名	242 名

② 利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	9	9	10	10	9	9	9	9	9	8	7	11	109
入所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	0	6

③ 在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
障害支援区分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害支援区分 4	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14
障害支援区分 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	10
障害支援区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未判定	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	8	73
計	9	9	10	10	9	9	9	9	9	8	7	11	109

④本年度短期入所者調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
男	1名(29日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0 日)
女	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(21日)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1名(15日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	4名
0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(7日)	0名(0日)	0名(0日)	(72日)

⑤本年度退所者調べ

事 由	男	女
GH へ	5 名	1 名
家庭	0 名	0 名
単身生活	0 名	0 名
他施設へ	0 名	0 名
合計	5 名	1 名

(3)日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30	起床(各自)
7:00	朝食・出勤(各自)
12:00	昼食(休日)
19:00	夕食
	入浴・自由時間
22:00	消灯

<行事>

- ・ 6月 3日 歓迎会(焼肉バイキング)
- ・ 9月23日 報恩まつり
- ・ 12月24日 クリスマス食事会
- ・ 12月31日 年末年始 オードブル
- ・ 1月 1日 年末年始 おせち
- ・ 1月 2日 年末年始 焼肉
- ・ 1月18日 新年会 食事会(ビュッフェ)

(4) ブロック目標(反省)

・宿泊型自立訓練事業の在り方について、運営面を含めた検討を図る。

⇒依頼件数については昨年よりも増えているが、年度によってばらつきがあるように感じる。依頼の内容については措置児童施設から親元に戻れない方、家庭環境に課題のある方が半数以上を占めており、単純な「自立スキルの訓練」ではなく、「家庭との調整」、「精神的な自立」といった障害者支援に留まらない支援スキルが必要となってきた。事業収支に大きな改善は見られていない為、運営については今後も検討が必要と思われる。

・食事提供の見直しを行う。

⇒食事の提供方法が新しくなったが、十分に定着し利用者にも好評だった。

・職員個々のスキルアップを図る。

⇒勉強会を行い、スマホ決済や電子マネーの仕組み、障がい者年金や障がい者手帳の制度について等、理解を深めることが出来た。

・感染症対策について、利用者様が卒後実社会の中でも対応できる取組を教示する。

⇒感染症対策については、随時注意喚起を行うとともに各生活ブロックに感染症対策についてのお知らせを貼り、利用者の意識の向上に取り組んだ。

・個別支援計画の質を上げる。

⇒利用者の意思を計画に反映させられるよう、モニタリング会議の充実に努めた。モニタリング会議の中で、利用者の思いや意思を確認するとともに、客観的に必要と思われる技術や知識、改善の余地のある生活習慣等について情報提供した。目標や支援方法についても細かく話し合っ前向きな計画作成を行う事が出来た。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	地域移行支援員	生活支援員	夜間支援員	看護師	事務員	協力医	合計
(1)	1	(1) 1	(1) 1	(4)	(1)	(1)	(3)	(12) 3

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
ワークショップ上野幌より異動			ホープスへ異動		
2024. 4. 1	管理者	1名	2025. 3. 31	事務員	1名

(3)職員の研修

日 付	研 修 名	場 所	人数
9/27	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌	1名
10/3、4	全国知的障害福祉関係職員研究大会(福井大会)	福井県	1名
10/29	第71回北海道社会福祉大会	札幌	1名
12/6	障害のある方の交際・結婚・子育て支援を考えるセミナー	札幌	1名
1/23	健康保険に関する実務講座	札幌	1名
1/30	障がい者虐待防止・権利擁護伝達研修	札幌	1名

(4)勤務時間

- 4週8休になったことで、休日が増えた為、会議や予定の調整はこれまで以上に厳密に行う必要があったが、大きな問題はなかった。

(5)諸会議

- 地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等の3カ月に1回の開催を継続することができた。
- 学校や地域生活定着支援センター、相談支援事業所等関係機関との会議を実施した。

【くるみ寮 概要】

— 共同生活援助～介護サービス包括型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行なった。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動を行なった。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 26,500 名 実績:26,157 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2023 年度から本年度への繰越員数	57 名	17 名	74 名
本年度中の入所者数	1 名	1 名	2 名
本年度中の利用者総数	58 名	18 名	76 名
本年度中の退所者数	0 名	2 名	2 名
差引本年度から 2025 年度への繰越人員	58 名	16 名	74 名
創立以来(平成 22 年一体型以来)の利用者数	80 名	34 名	114 名

③ 利用者月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	74	72	72	73	73	74	74	74	74	74	74	74	882
入所	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
退所	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

④ 在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分 6	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	28
障害支援区分 5	17	17	18	18	18	18	18	18	17	17	17	16	209

障害支援区分 4	19	18	18	19	19	18	18	18	18	18	19	20	222
障害支援区分 3	26	25	24	24	24	25	25	25	25	25	24	24	296
障害支援区分 2	10	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10	123
障害支援区分 1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	4
計	74	72	72	73	73	74	74	74	74	74	74	74	882

※区分変更者あり

④退所者調べ

事 由	男	女
他施設へ	0 名	0 名
家庭	0 名	1 名
その他	0 名	1 名
合計	0 名	2 名

(3)日課、行事

<日課>

- ・利用者さんの暮らしのスタイルに合わせ、各々日課を組み立てている。

<行事>

- ・クラブ活動で運動や映画鑑賞会を行う事が出来た。毎回15名程度の参加があった。
- ・同窓会を実施することが出来た。90名の参加があり出席した方には好評を頂けた。
- ・クリスマス会を実施することが出来た。60名が参加しチキンやオードブルを食べ楽しむことが出来た。

(4)ブロック目標(反省)

- ・修繕の年間スケジュールを立て実施します。
⇒修繕について各ホームをチェックしたが、スケジュールを立てるには至らなかった。
- ・単身生活者の居住支援や利用者のニーズを踏まえ、新たな支援の形、定員等について検討していきます。
⇒単身生活をしており、金銭管理のみを支援していた方2名の支援方法を本人のニーズに合わせて変更した。1名は成年後見制度を利用し保佐人を付けることで、金銭管理契約を終了した。1名は住まいを別法人のサービス付き住居に変更し、支援を受けながら、金銭管理はくるみ寮で引き続き行う形態に変更している。また、1名が単身生活からグループホームに移行したことにより、定員が1名増員となった。
- ・クラブ活動の充実を図ります。
⇒運動クラブに加え、今年度新たに映画クラブを実施した。好評で毎月10名程度の方がひまわりで映画鑑賞をした。

- ・利用者が楽しめる行事の充実を図ります。
⇒同窓会、クリスマス会が大きな行事だった。この他ホーム単位での外出も企画されているが、外出やイベントへの参加の機会はもっとあっても良いと感じた。
- ・利用者支援を効率的・効果的に行う為、ICT導入を含めた業務の改善を提案します。
⇒ICT導入には至らなかった。次年度に向けてドックの導入、月曜日の食事のクックチル方式導入を進めることが出来た。
- ・町内会の活動や催しに積極的に参加し、地域住民との交流を図ります。
⇒清掃には参加出来たが、その他イベントの情報収集や参加には至らなかった。
- ・成年後見制度の利用促進を図ります。
⇒4名の成年後見制度の利用を開始することが出来た。更に必要な方への利用促進を進める必要があると感じている。
- ・利用者の重度化・高齢化や支援の個別化・差別化といった多様なニーズについて検討、対応していきます。
⇒高齢化にともない、認知機能の低下、体調不良による通院・入院の増加が見られ、必然的に支援方法についても調整を行う事となった。地域で生活する為のハード面の調整や見守りや通院に必要な時間・労力・支援の専門性について随時検討しつつ対応してきたが、答えはなく日々試行錯誤を繰り返すことが求められていると感じている。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管 理 者	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	生 活 支 援 員	事 務 員	看 護 師	世 話 人	合 計
(1)	(1) 2	(5) 6	(1) 1	(1)	(52)	(61) 9

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
新任			退職		
2024.4.1	生活支援員	3 名	2024.4.～25.3.1	世話人他	4 名
2024.4.1～25.3.31	世話人	3 名	2025.3.31	看護師	1 名

グリーンホーム厚別より異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2024.4.1	主任	1名	2025.3.31	生活支援員	1名
	生活支援員	1名	サポート91へ異動		
ワークショップ上野幌より異動			2025.3.31	提供支援員	1名
2024.4.1	管理者	1名	報恩学園へ異動		
			2025.3.31	係長	1名

(3) 研修調べ(外部研修)

日 付	研 修 名	場 所	人数
6/17、18	令和6年度全道施設長セミナー	札幌	1名
10/23	施設長・管理者・権利擁護特別研修	札幌	1名
2/17、18	全道施設長研修会	札幌	1名
9/27	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌	1名
9/12、13	第35回全国グループホーム等研修会	神戸	1名
10/24、25	相談支援・就業支援セミナー	東京	1名
11/1	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1名
11/7	障害者差別解消法道民フォーラムin札幌	札幌	1名
11/21	権利擁護セミナー	札幌	1名
12/6	障害のある方の交際・結婚・子育て支援を考えるセミナー	札幌	2名
1/23	健康保険に関する実務講座	札幌	1名
1/17	グループホームスタッフ等研修会	札幌	3名
1/30	障がい者虐待防止・権利擁護伝達研修	札幌	3名
2/4	重度高齢化に対する取り組みの研修	札幌	1名

(4) 勤務時間

- ・4週8休となったことで、勤務時間が減少したが、新たに嘱託職員を配置したことで、世話人の不足分についても賄うことが出来た。
- ・1日の勤務時間が8時間になったが、良くも悪くも業務上目立った変化はなかった。伸びた時間を有効に活用出来るような仕組み作りが必要と感じている。

(5) 諸会議

- ・毎日9:30と11:30に打ち合わせを行い職員間の情報共有を行うことが出来た。
- ・年4回の各種委員会を実施した。
- ・個別支援計画の策定及びモニタリング会議を半年に1回実施することが出来た。
- ・毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、世話人と支援員の共通認識をはかり支援の方向性を確認する事が出来た。
- ・くみ寮支援会議を毎月定例開催した。

【ホープス 概要】

—就労継続支援(B 型)・就労移行支援(休止中)—

1. 支援目標(反省)

- ・定期的なホームページの更新や送迎運行の開始、支援学校等に新規利用者の獲得に向けての情報提供を行った。見学者2名の来所があった。
- ・新規作業種を目指し情報収集や見学を行ったが獲得には至らなかった。引き続き取り組んでいく。
- ・利用者個々に合わせた作業環境や、技能向上を目指した支援に取り組むべきケース検討会議を行い支援に活かした。また、年齢層を意識した作業の在り方について引き続き検討を重ねていく。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

①就労移行支援(休止中)

②就労継続支援 B 型定員 20 名(契約数 16 名)

年間受入目標(年間延べ) 4,420 名(270 日×17 名)

年間受入実績 B 型:3,840 名(利用率 89.2%)

(2)利用者の在籍数、実績数

①利用者人数調べ

	男	女	計
2023 年度から本年度への繰越人員	15	1	16
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度中の利用者数	15	1	16
本年度中の退所者数	0	0	0
差引本年度から 2025 年度への繰越人員	15	1	16
創立以来の利用者数	52	9	61

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約者数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192.
月平均	11.4	12.6	12.4	12.3	12.3	12.2	12.1	12.5	11.7	11.4	11.4	12.0	12.0
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所利用者調べ

入所者数	男	女	計
	0	0	0

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	0	0	0
入所施設	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍利用者、区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分 5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分 4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
障害支援区分 3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
障害支援区分 2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192

(3)利用者の日課表

・9:00 より通所の受け入れを行い、9:30～16:30 まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
5月1日	お花見会	平岡公園梅林	12名
11月11日	一泊旅行	定山溪ホテルミリオーネ	12名
11月5、12日	社会見学	幌西ほうおん	8名
12月11日	忘年会	ホープス食堂	13名

1月8日	新年会	すたみな太郎、上野幌神社	12名
2月3日	節分	ホープス事業所内	10名
3月24日	慰労会	ホープス食堂、カラオケバンバン	12名

(5)事業所目標(反省)

①送迎システムを見直し、新規利用者の獲得を目指す

- ・大谷地を拠点とする送迎を開始した。法人内他事業所との連携は図れなかった。
- ・養護学校の実習生受入れはなかった。受け入れに関する情報提供を行ったこともあり見学者2名を受け入れたが、新規利用にはつながらなかった。
- ・ホームページの更新は定期的(年6回)に行った。

②空いている作業場の有効利用を検討する

- ・他事業所との情報交換や見学を行い、利用者の興味関心を知ることが出来たが、新規作業獲得には至らなかった。
- ・作業状況に合わせた作業場の配置や動線の確保を意識した整理整頓を行った。
- ・利用者の自己管理を促す支援として、ロッカーの活用方法に取り組んだ。
- ・老朽化し備品など廃棄に向けて仕分けを行った。
- ・高齢利用者に配慮した配置換えを行った。

③他就労事業所と協力しながら請け負える新規作業の獲得を目指す

- ・厚別区他事業所との交流会には年2回参加し情報交換を行うことが出来たが、定期的な話し合いはできなかった。
- ・利用者向けの見学実習を行った。

④支援に必要な研修等の参加や事業所内研修を実施する

- ・虐待防止の研修(4/30)、感染症予防対策の研修(10/14)を行った。
- ・個別ケース検討会議を隔月で実施した。支援の方向性を決め、事業所発表に繋げることが出来た。
- ・外部研修受講後は要点をまとめ、学んだことの情報共有をすることが出来た。

3. 職員の勤務状況

(1)職員の在籍数調べ ※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	1	0	1	2	(2)	(1)	(1)	(1)	(6) 4

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2024. 4. 1～	所長・支援課長	1 名	2025. 3. 31	事務員	1 名
幌西ほうおんより異動			くるみ寮・のぞみ寮へ異動		

(3)職員の研修

日 付	研 修 名	場 所	人数
10/17	令和 6 年度第 2 回厚別区地域部会	札幌	1 名
2/14	2024 からびな学習会「就労支援を考える」	札幌	1 名
2/20	令和 6 年度第 3 回厚別区地域部会	札幌	1 名
2/28	「さぽコン」若手支援者の意見を聴く会	札幌	1 名

(4)勤務時間

・職員の勤務時間は 8:30～17:30 で特に問題なかった。

(5)諸会議

・支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はなかった。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響はなかった。

【サポート91 概要】

— 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援 —

1. 支援目標(反省)

- ・利用者の社会生活が豊かで自立したものとなるよう、居宅やグループホームにおける毎日が充実し、通院や余暇の支援、外出先での排泄、入浴や買い物、ご自宅での食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事等、必要な支援を行った。
- ・今年は感染症予防をしっかりと行った上で、外出先に制限をせずできるだけご要望にお応えする事にした成果として、余暇支援の依頼が増えたが、ヘルパー不足で対応しきれないことがあった。

2. 利用者支援

(1) 利用者の受入目標

・登録ヘルパーの採用があったものの、他のヘルパーが途中離脱を余儀なくされるなど、実質的にはサービスを維持するにとどまった。しかしながら居宅での身体介護や通院介助の同行支援など、特に女性利用者の支援にかかわる時間と人手が確保できた。サポート 91 の強みである行動援護事業に関しては、ニーズの量に対し男性ヘルパーの不足が顕著となり、回数の調整をするなどご理解を頂いた。新規契約の依頼に対しては、すべてにお応えすることはできなかった。

(2) 利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	44	44	44	44	44	43	43	43	43	43	44	44	44
重度訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	31	31	31	31	31	31	31	31	31	32	31	31	31
同行援護	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合 計	79	79	79	80	80	79	79	79	79	80	80	80	80

(3) 利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分													合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	77	83	73	80	71	75	86	72	65	88	85	85	940
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	57	63	54	66	64	65	68	74	69	66	58	66	770
同行援護	20	20	19	19	17	16	20	22	17	16	19	18	223
合 計	154	166	146	165	152	156	174	168	151	170	162	169	1933

(4) 利用者契約者数調べ～移動支援

(単位:人)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32

(5)利用者延人数調べ～移動支援

(単位:人)

区分													合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	62	63	53	45	45	44	37	55	44	41	31	50	570

(6)契約者総数

(単位:人)

区分													合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	-1
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同行援護	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計(契約/解除)	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	1/-1
移動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7)事業所目標(反省)

①公用車の入替と購入を検討する

- ・抽選は外れたが今年度も計画的に寄付事業に応募できた。
- ・公用車の使用実績を数値化し、必要な車種と仕様の検討を行った。
- ・新車購入またはリース契約の二通りで見積もりを取り寄せた。

②契約内容を見直し、新たな支援を提供し稼働時間を増やし、併せて登録ヘルパーの増員を目指す

- ・稼働時間は月平均 95 時間を達成していたが、事務処理の量が多く業務のバランスを調整する必要があった。ヘルパーの増員はなかったが新たな支援提供があり効率化が図られた。ヘルパー募集の広報活動はホームページにとどまった。

③居宅介護事業の充実を図る

- ・中央区幌西地区のニーズ調査を行ってきた結果、移動支援や行動援護の需要が多いことが分かった。
- ・事業拠点と人員が整う環境にあれば実施に向けて展開したいところであるが、現状ではヘルパーが不足している事業所が多い事もあり見合わせることにした。

④サービス制度の理解や研修の参加により職員の資質向上を図る

- ・毎月の支援会議にて、法人理念の理解や自己啓発について意見交換するなど支援者としての姿勢を磨いた。また、居宅介護事業の制度やルールについて過去の事例などをもとに理解を深めることが出来た。

3、職員の勤務状況

(1)職員の在籍数

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(8)
		2				2

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2024. 4. 1～	サービス提供責任者	1 名	2025. 3. 31	支援主任	1 名
札幌報恩学園から異動			札幌報恩学園へ異動		
2024. 6. 10～	登録ヘルパー	1 名	2025. 3. 31	提供支援員(臨職)	1 名
新規採用(パート職員)			くるみ寮へ異動(正職・登用)		
			2025. 3. 31	事務員	1 名
			くるみ寮・のぞみ寮へ異動		
			2025. 3. 31	登録ヘルパー	1 名
			定年退職		

(3)職員の研修

日 付	研 修 名	場 所	人数
4/1、8	同行援護従事者養成研修一般課程	札幌	1 名
4/12	福祉有償運送運転者認定講習・セダン等運転者講習	札幌	1 名
6/17、24	同行援護従事者養成研修応用課程	札幌	1 名
7/1、8	同行援護従事者養成研修一般課程	札幌	1 名
7/12	福祉有償運送運転者認定講習・セダン等運転者講習	札幌	1 名
8/21.22、28.29	行動援護従事者養成研修	札幌	1 名
11/21	令和 6 年度厚別区地域部会	札幌	2 名
1/29.30	行動援護従事者養成研修	札幌	1 名

※その他、登録ヘルパー向けの研修を事業所で実施した。

(4)勤務時間

- ・通常勤務は9:00～18:00となっていますが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行った。

(5)諸会議

- ・支援の調整を行うことで月1回のケース・技術指導会議と個別支援計画検討会議を開催できた。

【ステーション106 概要】

— 相談支援 —

1. 支援目標(反省)

- ・利用者さまの意思及び人格を尊重し、常に利用者さま側の立場に立って、利用者さまに提供される福祉サービス等が、特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者に、不当に偏することのないように、公正中立に支援を実施する事ができた。今後も丁寧なアセスメントを心がけ利用者さまにより良い情報提供をできるよう知識の習得や、他相談事業所との連携を図っていきたい。

2. 利用者支援

(1)在籍実績

①利用人数調べ

	男	女	計
2023年度からの本年度への繰越契約者数	194	97	291
本年度中の新規契約者数	6	4	10
本年度中のサービス等利用計画作成件数	76	45	121
本年度中のモニタリング件数	320	221	541
本年度中の契約解消者数	3	2	5
創立以来の契約者数	204	108	312

②新規契約者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体							1						1
重心													
知的	1				1				1			4	7
精神	2												2
発達													
高次脳													
難病													
その他													
計	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4	10

③相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	3	0	0	0	1	1	3	1	1	1	2	5	18
契約者数	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4	10

(2)事業所目標(反省)

①サービス等利用計画の受入件数の拡充を目指す。

- ・法人、地域の相談者を合わせ 10 名と新規契約しサービス等利用計画を作成した。
- ・サービス等利用計画作成の契約者数が 2023 年度は 270 名、2024 年度は 291 名と件数が増加した。計画作成件数、モニタリング件数については 2023 年度が 460 件であったが、2024 年度は 662 件であった。前年度と比較すると件数は増加する結果となった。今後も件数の受け入れ拡充を目指し、計画内容の質を高めながら支援の向上を図りたい。

②スケジュール管理を徹底し計画作成やモニタリング実施を正確に行う。

- ・計画案やモニタリング作成の時期を把握できる様にする為、各相談員が閲覧・確認できるデータベースの管理表を作成した。日程の漏れを防ぎ、スケジュール管理を徹底する事ができた。

③サービス等利用計画作成のために支援の質の向上を図る

- ・障がい児支援に関連する研修会に参加し、基礎知識や技術を学ぶ事ができた。件数としては少ないが、障がい児の計画相談支援を 2 件受ける事ができた。

④各種加算を取得し収入増を目指します

・加算対象となる精神障害者支援体制加算の研修に参加する事はできなかったが、
通院同行加算を獲得する事ができ、収益増に繋げる事ができた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管 理 者	相 談 員	事 務 員	看 護 師	協 力 医	合 計
(1)	(1) 2	(1)	(1)	(1)	(5) 2

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2024.4.1	管理者	1 名	2025.3.31	相談員	1 名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
7/18~19	令和 6 年度相談支援専門員現任研修	札幌市	1 名
8/2	第 20 回北星学園大学障害児教育夏季セミナー	札幌市	2 名
8/3	YeLL 実践研究会 2024	札幌市	2 名
8/9	令和 6 年度 3 圏域合同フォローアップ研修	札幌市	2 名
9/28	福祉サービス事業所まると説明会	札幌市	2 名
10/4	強度行動障害など行動に問題を抱える子どもたちの支援と連携を考える	札幌市	2 名
10/12	札幌 TS ネットキックオフセミナー	札幌市	2 名
10/17	令和 6 年度厚別区地域部会「第 11 回事業所交流会」	札幌市	2 名
10/29	災害に備えた地域での支え合い研修会 2024	札幌市	2 名
11/1	令和 6 年度全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	2 名
11/18	発達凸凹さんへアカット活動報告会	札幌市	2 名
11/21	令和 6 年度権利擁護セミナー	札幌市	2 名

11／28	生きづらさに寄り添い多機関連携で支え続けるために！～刑事司法の変化と地域共生社会の実現に向けて～	札幌市	2名
12／6	障害のある方への交際・結婚・子育て支援を考えるセミナー	札幌市	2名
12／7	令和6年度第2回札幌市発達障害児地域生活支援モデル事業研修会	札幌市	1名
2／20	令和6年度第3回厚別区地域部会	札幌市	2名
2／22	発達障がいの特徴って何？～周囲の配慮と家族の関わり～	札幌市	2名
2／28	釧路圏域広域相談支援体制整備事業研修会	札幌市	2名
3／17	インクルージョン北海道会議	札幌市	2名

(4)勤務時間

- ・一般就労をされている利用者の方に聞き取りをする際に18時以降の面談実施が必要となるが、勤務時間の調整を行うことで問題なく実施する事ができた。

(5)諸会議

- ・ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を行った。
- ・開催日時はその都度調整し、問題なく行なえた。

【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】

— 就業・生活相談 —

1. 支援目標(反省)

- ・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し12年目の年となった。相談員とジョブサポーターが連携を図りながら、相談者の「働きたい」という思いに応えるため、雇用、保険、福祉、教育等の地域の関係機関と連携をとり、身近なその地域において就業面及び生活面における一体的な相談・支援を実施する事ができた。一方で、人員・人材の確保、支援スキルの向上等が充足しておらず、人材の確保・定着については今後の課題となっている。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2023 年度からの本年度への繰越登録者数	121	61	182
本年度中の新規登録者数	21	27	48
本年度中の登録相談者数	142	88	230
本年度中の登録抹消者数	14	16	30
創立以来の登録者数	384	244	628

② 新規登録者の障がい別調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
身体		1		1						1			3
重心													0
知的	1				1	2	2		1	3	3	3	16
精神	1		3	3	2	1	4	4	1	2	2	4	27
発達													0
高次脳													0
難病									1				1
その他							1						1
計	2	1	3	4	3	3	7	4	3	6	5	7	48

③ 相談月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
新規相談数	9	9	13	16	9	13	11	9	6	12	13	16	136
登録者数	2	1	3	4	3	3	7	4	3	6	5	7	48

(2) 事業所目標(反省)

① 企業開拓、求人開拓を行うことで企業との連携を図り、就職者数増を目指す。

・ハローワークと連携を取りながら未達企業を中心に企業訪問を実施した。中ポツの機能説明や障がい者の雇用に関する助言等を行い、2名の登録・雇用に結び付ける事ができた。今後も企業との繋がりを重視し、周知・啓発活動を実施していく。

② 支援の質を向上させる

- ・定期的にロールプレイを実施し、面談技術や電話対応の技術向上に取り組んだ。
- ・都度、困難事例や課題に対しての事例検討や勉強会を実施したが、資料の作成までには至らなかった。
- ・令和6年度は32名の方を就職に繋げる事ができたが、就職に向けたアセスメント機能に課題があり、より具体的で計画性のある就労アセスメントが課題となっている。

③相談者のニーズの把握に努める

- ・定期的に福祉事業所と機関会議を設け、相談者の情報共有や意見交換を行う事ができた。今後も地域性を把握した上で、相談者の要望に則した支援を実施する。
- ・地活の設置については、場所や人員配置、収入面等を考えると需要と供給のバランスがとれず、設置は困難であった。ただ、茶話会については相談者の要望を汲みながら定期的に企画・実施し好評を得る事ができた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	ジョブサポーター	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	4	1	(1)	(1)	(1)	(4) 5

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2024.4.1	管理者	1名	2024.6.30	相談員	1名
2024.4.1	主任	1名	2024.8.31	ジョブサポーター	1名
2024.4.1	相談員	1名	2025.3.31	相談員	1名
2024.5.7	ジョブサポーター	1名			
2024.7.1	相談員	1名			

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
5/10	令和6年度札幌市自立支援協議会就労支援推進部会定例会	札幌市	2名

6/5	北海道障害者職業センター関係機関向け利用説明会	札幌市	2名
6/14	第5回北海道就業・就労部会連絡協議会	札幌市	2名
6/21	就労系福祉サービス事業所意見交換会	札幌市	2名
6/28	令和6年度第1回職場適応援助者養成研修・支援スキル向上研修修了者サポート研修	札幌市	2名
7/5	連携が生む就労移行支援の新たな価値 特色ある支援事例共有会	札幌市	1名
8/2	第20回北星学園大学障害児教育夏季セミナー	札幌市	1名
8/17～18	令和6年度第1回JC-NET ジョブコーチ養成研修	札幌市	1名
9/11～13	令和6年度第3回就業支援基礎研修	札幌市	1名
10/11	障がい者雇用セミナー2024	オンライン	2名
10/12	札幌 TS ネットキックオフセミナー	札幌市	1名
10/17	令和6年度厚別区地域部会「第11回事業所交流会」	札幌市	2名
10/19	これからの北海道の社会福祉を考える～みんなで創るケア世界～	札幌市	2名
11/18	第1回研修会「保護観察所の機能と取組みについて」	札幌市	1名
11/20	2024 障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム	札幌市	1名
11/21	厚別区地域部会主催「プチ事業所交流会」	札幌市	1名
12/13	障害のある方を支援する方へのセミナー	札幌市	2名
2/14	就労支援を考える	札幌市	1名
2/14	障がい者雇用セミナー「広げよう障害者雇用、連携から協働へ！」	オンライン	1名
2/19	2024 年度障がい者対象就業体験実習事業報告会	札幌市	1名
2/28	令和6年就労支援推進部会広報チーム企画さぽコン	札幌市	2名
3/14	就労選択支援事業モデル事業報告会	オンライン	1名
3/14	令和6年度第2回札幌市生活困窮者自立支援ネットワーク会議	札幌市	1名

(4)勤務時間

・支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営する事ができた。一方で、外勤・直帰に関するルールが曖昧である為、次年度に向けて明確なルールを設定したい。

(5)諸会議

・職員会議は協議内容について意見交換や情報共有を図り、支援の在り方を確認した。
・施設連絡会議等では法人内の連絡・情報について、共有を図る事ができた。
・就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議等に参加し、意見交換や情報共有を行なう事ができた。

【まごころ保育園 概要】

— 保育事業 —

1. <運営(保育)目標反省>

(1)運営(保育園)目標

- 「すべてに暖かい保育」を原点に、健やかにたくましく成長できるよう、子ども一人ひとりに寄り添った保育・年齢発達や個々の発達に応じた保育・心育ちを大切に丁寧な保育を目指します。
- 豊かな自然とのふれあい、戸外でのさまざまな活動、友達とのかかわり等のいろいろな経験を通して、安心安全な環境づくりや、地域との交流を広げ、人とのつながりを大切にします。

(反省)

- ・保護者との「共育て」と保育士同士の連携に重点を置いた関わりを実践したことで、少しずつ子ども達の主体性が育ち心身の成長を実感できた。
- ・運営面では、制度の改正、誰でも通園制度等の支援の増加、重大事故に合わせた対応が必須であることから保育士の多岐の専門性の向上と日々の安心安全な保育運営を求められることに保育士にゆとりが持てず心のサポートが必要であり課題でもあった。

2. 保育(支援)目標

○ 2才未満児クラス目標

- ・一人ひとりを大切に丁寧な保育、豊かな成長発達に繋がる暖かい保育を大切にする。
- ・自ら行おうとする意欲が育つ丁寧な保育を大切にする。
- ・安心安全な環境を作り、成長発達に寄り添った保育を大切にする。

○ たてわり(3～5才児)クラス目標

- ・異年齢の友だちとのかかわりの中でさまざまな経験を通して、仲間と考え合い楽しみながら主体的に行動し、自信や意欲に繋がる保育を大切にする。
- ・日々の生活や遊びの積み重ねを通して、自己発揮し就学への期待が持てる丁寧な保育を大切にする。
- ・一人ひとりに寄り添った保育を大切にする中で、個別支援の必要な子どもへのかかわりについて、関係機関とのつながりを深められる連携を大切にする。

- 「すべてに暖かい保育」を原点とした保育理念の4つの言葉、「のびやかに たくましく すこやかに やさしく」を具体化し、一人ひとりに寄り添い、年齢や個々の発達に応じた心育ちを大切に丁寧な保育を目指します。

- 豊かな自然とのふれあい、戸外でのさまざまな活動を通して、また、行事等の保育資源を活用し地域社会との交流やつながりを目指します。

(反省)

○ 2才未満児クラス反省

- ・年度初めは新入児が多く、落ち着いて信頼関係を構築するまでに時間を要したが自己主張を認め、自ら意欲をもって生活できる環境工夫が出来た。その反面、個別対応に偏りや関わりを深めきれず課題もあった。
- ・身近な保育園での誤嚥事故や遊びでの事故、不適切保育などの情報の度に会議や研修を行ったが、実践している保育が正しいのか戸惑や自信を無くすこともあった。

○ たてわり(3～5才児)クラス反省

- ・年長児に憧れを持つ子どもが多く、今年の年長児の優しさが園全体に浸透し主体的な保育を実践することができた。職員同士の連携もスムーズにでき行事準備を早めに取り組むことができた。しかし、職員の個々の力量等もあり、準備負担度の差が出るなど取り組み方の見直しが課題となった。

○全体の反省

- ・すべてに温かい保育を行事等で子ども達へ浸透させることが出来た。
- ・戸外・園外活動は積極的に行い、公園や散歩等で出会った地域の方との会話や高齢者施設への訪問など新しい地域活動を取り入れることができた。

2. 保育の支援

(1)受け入れ目標 12,400名(達成率98%) 66名までの入所目標

- ・入所園児数(3月末日) 67名入所(定員60名)
- 年間受入延べ人数 13,755名

・特別支援事業

障がい児保育 5名(5才:3名 4才:1名 3才:1名 3月31日現在)

(2)在籍実績

・利用園児人数調べ

	年 齢 別 人 員												合 計
	0 才 児		1 才 児		2 才 児		3 才 児		4 才 児		5 歳 児		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本年度へ繰越園児数	1	0	0	6	5	6	5	7	4	6	7	4	51
本年度中入所園児	2	5	4	1	1	0	1	0	0	2	0	0	16
本年度中途退/卒園児	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7	4	14
3 月 31 日在籍数	2	5	3	7	6	6	6	7	4	7	0	0	53
入園児総人数 (平成 24 年～)	男:113 名 女:115 名 合計 228 名 (卒園児総数:140 名・3 月 31 日退園児 32 名)												

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
実人数	57	57	58	59	59	59	60	66	66	67	67	67	734
入 所	7	0	1	1	0	0	1	6	0	1	0	0	16
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	15

・利用園児(一時保育)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
実人数	0	0	2	2	2	3	2	0	1	1	2	3	18
延べ人	0	0	4	6	4	11	8	0	1	2	1	4	41

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00～19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	19	17	17	18	16	24	20	18	18	20	24	18	229
延べ人	73	77	74	85	86	81	100	118	96	95	88	81	1,054

(3)日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才～5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ
16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育
18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

(4) 行事報告

- ・ 誕生会(毎月)
- ・ 園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・ 避難訓練(毎月)第2週水曜日・・・火災・地震・不審者侵入・内水災害 4つを訓練時間や職員人数、避難場所等を変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	時間	行 事 名
4 月 1 日(月)	10:00～	第13 回入園進級式
4 月 30 日(火)	10:00～	子どもの日のつどい
5 月 22 日(水)～29 日(水)	17:30～18:30	各クラス懇談会(月～水で実施)
6 月 13 日(月)～27 日(月)	16:00～18:00	0～2 才児クラス個別懇談 各3日間
6 月 16 日(金)	10:00～11:00	春の交通安全教室 (地域子育て交流)
6 月 10 日(月)～21 日(金)	16:00～18:00	個別懇談(0才・1才・2才児)
6 月 24 日(月)	10:00～	プール開き
7 月 6 日(土)	9:00～	保育参観
7 月 8 日(月)～29 日(月)	16:00～18:00	たてわりクラス個別懇談各 4 日
8 月 7 日(水)	10:00～	七夕会
9 月 4 日(水)	10:00～	運動会総練習
9 月 7 日(土)	9:30～	第 13 回運動会
9 月 13 日(金)	9:30～	たてわり遠足
9 月 20 日(金)	9:30～	みかん(2才児)遠足(法人バス)
10 月 4 日(金)	9:00～15:00	たてわりバス遠足
10 月 25 日(金)	10:00～	野菜収穫カレークッキング
11 月 21 日(水)～22 日(木)	10:00～	生活発表会総練習
11 月 30 日(土)	9:30～	第 13 回生活発表会
12 月 3 日(火)	10:00～	冬の交通安全教室
12 月 5 日(木)	9:30～	もちつき会
12 月 25 日(水)	10:00～	クリスマス会
12 月 27 日(金)	10:00～	まゆ玉飾り
12 月 29 日(日)～1月3日(金)		年末年始の休園
1 月 4 日(土)	10:00～	新年開園日
1 月 6 日(月)	10:00～	お正月の会
1 月 31 日(金)	17:30～18:30	年長にじ組懇談会

2月3日(月)	10:00～	豆まき会
2月14日(金)	10:00～	スノーフェスティバル
2月17日(月)～27日(木)	17:30～18:30	各クラス期末懇談会(6日間)
3月3日(月)	10:00～	ひな祭り会
3月12日(水)	10:00～	卒園式総練習
3月15日(土)	10:00～	第13回卒園式
3月19日(木)	10:00～	お別れ会
3月27日(木)	10:00～	にじ組和菓子作り体験
3月28(金)～31日(月)	10:00～	新年度クラス慣らし準備日

(5)事業(保育)目標反省

- ① 保育がより充実する環境と職員間の共有が深まる保育を目指します。
 - ・障がい児や病的ケア児の発達・支援方法等を学び職員の理解を深めます。
 - ・子どもの主体性が生きる保育計画を実施し、職員全体で連携した保育を実践します。
 - ・保育カリキュラムや記録等の保育事務のスリム化と共に保育の充実を目指し、保護者等コミュニケーションスキルへ繋がるICT化を進めます。
- ② 地域交流を通して保育園を知る・見る・利用する機会へ繋がります。
 - ・保育園入所等へ繋がるような活動を行います。
 - ・ポプリ活動と保育園施設を共有し、地域と連携できる継続的な活動を模索し、今、必要とする地域、子育て支援のつながりを大切にします。
 - ・法人の障がいの情報、資源を積極的に活用し、気になる子への支援やアプローチの内容が充実できるよう取り組みます。
- ③ 施設整備が増す建築年数から快適な生活が送れるよう、無理のない整備計画を実施します。
 - ・電気容量不足のためエアコンが設置できない保育室の暑さ対策を検討する。
 - ・地階ホール大型窓のカーテンレールの老朽化のため取り替えを検討する。

(反省)

- ① 初めて重度肢体不自由児を受け入れ、発作の頻回、流動食の完全介助など戸惑いが多かった。対応や支援方法を考え合い園全体で把握する研修が必要だったが時間の確保が難しかった。しかし支援の学びは大きかった。
カリキュラムのICT化は完全移行し、その都度変更しながら実施できた。
- ② 地域子育て活動は、園独自と法人社会貢献活動と合わせ実施した。子育て親子参集は課題であり、継続するための開催方法の検討が必要であった。
- ③ 幼児保育室のエアコン設置工事は終了したが、札幌市の補助金を一度受けていたことから申請が通らなかった。カーテンレール工事も完了した。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数・在籍者数

園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(10) 9	1	(4) 0	1	(2) 0	(2) 0	(14) 13

※()は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まない

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2024. 4.1	保育士/P 調理員	2 名/1 名	2024.10.31	P 調理員	1 名
2024.11.1	P 調理員	1 名	2025. 2.27	保育士	1 名
			2025. 3.31	保育士/P 保育士	1 名/1 名

(3)研修調べ

日程	内 容	開催地	人数
5/17	日保協北海道支部総会・研修会	リモート	1 名
5/22	法人研修 自閉症の特性とアセスメント	リモート	2 名
6/8	危機管理教育研修所 園防災新常識	リモート	全職員
6/10	道社協 乳幼児のための食育研修	リモート	1 名
6/12	区幼保小連携推進協議会研修	札幌市	2 名
6/12/13	新任保育士等研修	札幌市	1 名
6/20	私保連 みんなが元気になる保護支援を学ぶ	札幌市	1 名
6/25	事例から学ぶクレーム対応力強化	リモート	1 名
7/ 5	私保連研修 保育中の子どもの事故・怪我を防ぐ	札幌市	1 名
7/10・11	道保協 北海道・東北ブロック保育研究大会	秋田県	1 名
7/17～23	札幌市 障がい児研修 保護者支援	札幌市	4 名
7/25・26	道社協 新任保育士等研修	札幌市	1 名
7/25	私保連 最新の保育情勢と保護者支援	札幌市	1 名
8/ 2	私保連 幼児期の視覚発達の特徴と注意点	札幌市	1 名
8/ 6～	私保連 保育中の子どもの事故・怪我を防ぐ	リモート	4 名
8/10	私保連 子ども達の食事(食べること)を支える食育	札幌市	1 名

8/9	私保連委託費/施設型給付費の算定と経営への活用	札幌市	2名
8/25	あいおい 就学前 BCP 事業継続計画作成ポイント	リモート	1名
8/29	私保連 あそびが育つ保育のデザイン研修	札幌市	2名
9/17	道社協 社会福祉法人経営セミナー	札幌市	1名
9/20～	私保連 保育現場の保育運営研修	リモート	2名
9/27	私保連 特別な配慮が必要な子どものクラス運営	札幌市	1名
10/2	札幌市 公開保育見学	札幌市	1名
10/11	札幌市 幼保小連携推進協議会	札幌市	2名
10/17	厚別区 保育に生かそう バルーンアート&手品	札幌市	1名
10/16	区)職場における異世代とのコミュニケーション	札幌市	2名
10/24～	札幌市 幼児教育・保育が進む道	リモート	3名
10/25	私保連 保育研究大会 記念講演	札幌市	4名
10/26	私保連 保育研究大会 分科会	札幌市	6名
11/20	厚別区 字度虐待予防・防止研修会	札幌市	2名
11/26～	札幌市 オレンジリボン地域協力全体研修会	リモート	5名
11/28	厚別区 子育てネットワーク講演会	リモート	2名
12/9	経営協 社会福祉法人会計実務者決算講座	リモート	1名
12/ 28～	市)誤嚥の仕組みと保育現場における誤嚥事故予防	リモート	全職員
1/9	札幌市 重大事故を防ぐために何を気をつけるか	札幌市	3名
2/11	北海道医師会 北海道小児救急医療地域研修会	リモート	3名
2/22	日保協 補正予算を踏まえた処遇改善研修会	リモート	1名
2/26	厚別区 医療ケア児への支援に関する研修会	札幌市	1名
10/26～	道保協 キャリアパス研修 保健衛生・安全対策	リモート	2名
11/13～	道保協 キャリアパス研修 幼児教育	リモート	3名
12/9～	道保協 キャリアパス研修 障がい児保育	リモート	2名
2/1	道保協 キャリアパス研修 保護者支援子育て支援	リモート	1名
2/4	道保協 キャリアパス研修 食育・アレルギー対応	リモート	1名

(4)勤務時間

- ・8時間勤務になったことで午前中のクラス保育に入りやすくなった。保育事務時間の確保もできた。平日公休はリフレッシュや休息となった。反面、退勤後の通院の際、時間休等を取らなければならないことが気がかりだった。

(5)諸会議

- ・計画通りに実施できたが全員揃う会議や研修の実施は難しく、臨時会議やグループ会議、伝達等を考慮した方法で実施することができた。

【幌西ほうおん概要】

— 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 —

1. 支援目標(反省)

- ・ 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行なった。
- ・ 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行なった。

2. 利用者支援

(1)受入目標 5,389 名(達成率:99 %)

生活介護定員 20 名(契約数 28 名)

⇒年間延べ利用者数:4,399 名

就労継続支援B型定員10名(契約数 5 名)

⇒年間延べ利用者数: 938 名

合計 5,337 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2023 年度から本年度への繰り越し人数	25 名
本年度中の入所者数	3 名
本年度の利用者総数	33 名
本年度中の退所者数	5 名
差し引き本年度から2025 年度への繰り越し人数	28 名
平成 29 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	47 名

②月別人数調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	33	33	33	32	32	32	32	30	30	30	30	29	376
延べ人数	480	484	455	506	465	444	476	423	425	397	384	398	5,337
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309
月平均	18.4	17.9	18.2	18.7	17.2	17.7	17.6	16.2	17.0	16.5	16.0	15.3	17.2
入所	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
退所	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	5

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	3	2	5
家 庭	0	0	0
就 職	0	0	0
計	3	2	5

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	0	0	0
家庭から	2	1	3
その他	0	0	0
計	2	1	3

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	13	13	13	12	13	13	13	12	13	13	13	13	154
障害支援区分5	8	8	8	8	7	7	7	6	6	7	7	7	86
障害支援区分4	8	8	8	8	8	8	8	8	7	6	6	7	90
障害支援区分3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
障害支援区分2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	24
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	33	33	33	32	32	32	32	30	30	30	30	29	377

(3)利用者日課

9:30	登園・バイタルチェック
9:45	朝の会、ラジオ体操
10:00	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:30	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	帰宅

(4)事業所目標(反省)

①生活介護の活動内容の充実を図る。

・利用者の目標や特性に合わせた自立課題の提供が出来た。周囲の様子が気になる利用者へパーテーションを購入し構造化を実施した。個別ブースを用意することで落ち着いて課題に取り組むことが出来るようになった。敷地外歩行の際に歩道や公園などのゴミ拾いを実施し、地域貢献の一部に繋がる活動が出来た。余暇活動の充実として新たにボールプールを導入した。スヌーズレンルームとホールへ設置し、利用できる利用者を増やすことが出来た。今後も職員間での情報共有や話し合いを実施し、利用者個々に合ったスケジュール提示や活動内容、環境の整備を行っていく。

① B型の収益を上げる。

・委託を受けているカード作業の種類と新規作業を増やすことが出来たため、収入が増加した。週始めの受注は概ね一週間で終わることが出来た。カフェの営業について、水道光熱費の高騰により一部価格を値上げした。町内会や支援学校などからイベント会場としてご利用の予約をいただき、大きな問題なく実施することが出来た。新メニューの開始やカウンターテーブルの設置により昨年度からの常連客や新規の客も増え客数、売上が伸びた。作業工賃の増額にむけた工賃規程の検討は次年度に持ち越しとなった。

③短期入所の稼働率を上げる。

・月3回の実施は継続できたが、現状の職員数では稼働率を上げることは難しい。夜勤や遅出のパート職員の増員も検討が必要である。

④施設内の環境整備に努める。

・菜園活動において、苗植えは5月連休明けより開始することが出来た。秋の植物(コキアなど)を植えることで雪が降るまで活動を続けることが出来た。野菜は例年通り15~20種類の野菜を育て、収穫後はおやつ作りで使用するなどした。雑草処理が追い付かないことがあるため、親御さんの参加やボランティアの募集を検討したい。館内外の清掃は分担区域を決め清潔を保つことが出来た。

⑤地域福祉の拠点としての役割を果たす。

・町内会高齢者の見守り支援事業としてのカフェすみれ利用、3階多目的室の貸し出し(行動援護研修、絵手紙教室など)や地域主催の夏まつりを当施設とほうおん園で実施した。幌西ほうおんの広報誌について検討したが現状では発行は難しく、法人の広報を町内会の回覧に掲載させていただいた。ほうおん園を常に清潔な環境に保つことで、事故や怪我などなく多くの方にご利用いただけた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	24 30 31	金 木 金	外出レク	青少年科学館 カフェラベンダー	24 名
7	7	日	幌西夏まつり	幌西ほうおん	17 名
10	17 18 24	木 金 木	ハイキング	モエレ沼公園	22 名
12	20	金	クリスマス会	食堂、2 階ホール	30 名
1	4	土	新年会	食堂	9 名
2	3	月	節分	2階ホール	23 名
3	27	木	お疲れさま会	食堂、2階ホール	23 名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

管 理 者	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	生 活 支 援 員	職 業 指 導 員	目 標 工 賃 達 成 指 導 員	事 務 員	調 理 員	運 転 手	看 護 師	協 力 医	合 計
1	(1)	(2) 6	1	0	1	(2)	(2)	(1)	(1)	(9) 9

(2)職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2024.4.1	支援課長	1 名	2025.3.31	生活支援員	1 名
ホープス・サポート91からの異動			退職		

(3)職員の研修

日 程	研 修 名	開催地	出席者
2024.6.5	人事労務実務研修会	札幌	1 名
2024.6.17～18	全道施設長セミナー	札幌	1 名
2024.7.11～12	全国知的障害関係施設長等会議	東京	1 名
2024.8.23	管理監督者のための職場の法律	札幌	1 名
2024.9.17	社会福祉法人経営者セミナー	札幌	1 名
2024.9.27	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌	1 名
2024.10.2～5	全国知的障害関係職員研究大会	福井	1 名
2024.10.11	災害対策研修会	札幌	1 名
2024.10.23	施設長・管理者 権利擁護特別研修	札幌	1 名
2024.11.1	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1 名
2024.12.9	全国社会福祉法人経営者協議会社会福祉法人会計実務者決算研修	オンライン	1 名
2024.12.18	日中活動支援部会職員研修会	札幌	1 名
2025.1.29～30	日中活動支援部会全国大会	東京	1 名
2025.1.30	障がい者虐待防止・権利擁護伝達研修	札幌	1 名
2025.2.4	札幌市知的障がい福祉協会「重度高齢化に対する取り組み」	札幌	1 名
2025.2.17～18	全道施設長研修会	札幌	1 名

(4)勤務時間

- ・ 現行の勤務時間で特に問題はなかった。
- ・ 送迎時間は、夏時間(4 月～11 月)、冬時間(12 月～3 月)で対応した。

(5)諸会議

- ・ 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。